

# 千葉県考古学史資料目録稿

—明治期—

西野 元

## 目 次

I 解 説	453
II 凡 例	468
III 遺跡・事項対照文献目録	472
IV 収録雑誌類一覧	501
V 著者・被記者別文献索引	503
VI 文献対照遺跡・事項目録	506

## I 解 説

### はじめに

本稿の主体となるのは、IIIからVIまでの目録、一覧及び索引であり、これに凡例が附随すれば、資料目録としては一応の体裁を備えたものとはなろう。

しかし、そのみでなく、本稿作成の目的、構成等、全体的な事項について簡単なながらも触れておくことが必要なので煩瑣の嫌いはあろうが、あえて「解説」の一項を設けることにした。

なお、III以下の表記に関する事項は凡例に記載する。

### 1 地域考古学史の構想と本稿の目的

本県における近年の考古学上の成果は、全国各地と同様、発掘調査の著しい増加がその背景となっている。数多くの遺跡が調査され、それに基づく研究の発展、新知見の追加は、目覚ましいものとも言えよう。

一方、本県は遺跡の数が多く、中には古くから知られ、研究が為されているものが多いにもかかわらず、これらの学史的な整理は、特定の遺跡、遺物等に関する僅かな例が見られるのみで、県域全般に亘っては立遅れている現状にある。学的研究を進める上で、学史的な研究、反省に基づいて方向性を見定めねばならないのは論を俟たない。多くの成果に立脚して、本県における考古学的地域研究を進める上でも、また、特に考古学的資料から地域史を構成するためにも、本県に関する考古学史的な研究が必要であろう。

いうまでもなく、日本考古学の研究は全日本に、時としては世界に視点を置いて成立しており、一地域にのみ基盤を置くものではない。しかし、それとともに、特定の地域を対象とした研究、いわゆる地域研究が、歴史における地域の独自性、即ち地域性の解明に大きな役割を果たしていることは明らかである。

千葉県という地域を特定した学史的な研究、即ち地域学史的な研究についても上と同様に、日本考古学史の中で位置づけられる側面と、本県の地域的な個性を示す側面との両面から構成されよう。前者については、県内の遺跡、遺物及びこれらに関する研究の日本的学史的な対照、評価、後者については、遺跡、遺物等の地域性、地域研究者の活動、地域住民の関心や関わり方、発見されたまゝ利用されずにいる資料の再発掘等が主な研究対象となろう。そうして、これら両者を総合的に体系化したものを地域考古学史として把握したいというのが筆者の考え方である。

いかなる研究においても、課題の設定に次いで資料の収集整理が出発点となる。上述の千葉

県域を対象とした地域考古学史研究もまずここから始めねばならない。資料の種類、時期は広範囲に亘るが、まず、文献目録と、そこに記述の見られる遺跡等目録から着手することとした。本稿はその一部として明治期についてまとめたものである。筆者にとっては、出発点であり、課題に対する手段の一過程である。今後他の時期についても資料をまとめ、地域考古学史の体系化を進めたいと願っている。

## 2 対象地域の範囲

本稿で取扱う地域は、現行の千葉県域とした。ただし、一例だけ例外があるが、これについては7で後述する。この県域は、上総・下総・安房の旧3国から成っている。このうち下総国は、近代において府県制成立の過程で、千葉・茨城・埼玉の3県に分割された。こうした歴史的経過を考慮すれば、下総国については、茨城県に属する猿島・結城・北相馬・筑波の4郡域と、埼玉県北葛飾郡を含めて取扱うことが、地域学史資料として必要と考えた。また、文献について見ても、地域として旧国が強く意識されている例が多く、一層その感を深くした。

それにもかかわらず、本県域に限ったのは主として次の理由からである。

まず第一に、県外に関しては資料となる文献の所在調査が非常に困難なためであった。必要な内容が記述されている文献があることは判っても、その文献がどこに所蔵され、閲覧できるかを調査するのは容易なことではない。それでも、全国的読者を対象としまとめた部数が刊行されている文献や、復刻書が刊行されている場合はともかく、地域で少数しか作成されなかった文献の所在となると筆者には到底調査し得ないところであり、断念せざるを得なかった。

第二には、筆者自身の問題として、県外の上述地域に関しては県内に比して地理的・歴史的知識が著しく欠如しており、文献の中から、事項、遺跡等を選択するに当って、致命的な誤りや、見落としをする恐れがあったためである。

その他にも若干の理由はあるが、特に上述の2点を重視したのは、地域により、前提条件の差や筆者の視点の差が大きくなることを防ぎ、全体的水準の均衡を図ろうとしたからである。

## 3 収録文献の年代

収録した文献は、明治元（1868）年から明治45・大正元（1912）年の間に著作、刊行されたものを対象とした。

前述した筆者の構想の中で、出発点として明治期を取り上げたのは、この時期が、現在の我々に連なる時代の出発期であり、各面に亘って新旧の交錯、交代、変革の時期だからである。近

代的考古学の出発、形成はもとより、地方制度の確立に伴う新しい地域意識の成立、国民教育の普及による知識範囲の拡大など、地域学史研究の基礎的要素の成立をこの時期に見ることができる。

このような時期を対象に資料を整理することにより、江戸時代以来の考古学、地域史の系譜と、明治以降の新しいそれらとの両面について展望した上で、筆者の視点を定め、今後の研究、作業を進めたいと考えたからである。

著作、刊行時期を明治期に限ったので、明治期に刊行された江戸期の著作は含まれていない。このため、地域史に関する清宮秀堅の代表的著作である『下總国舊事考』が収録されず、『香取新誌』（文献5）が収録されているという、同一著者の扱いについて、若干の不都合を生じた面もある。しかし、時期別に目録を作成する限りは止むを得ないことであった。

なお、江戸期の文献目録については、文献の性質が明治期以降とかなり異なるので、刊行年代にとらわれずに作成するのが適切であり、かつ、体裁も変える必要があるので、他日、稿を改めて発表の機会を得たいと考えている。

#### 4 収録文献の範囲

文献目録には主として考古学、地域史に関係する図書50点、雑誌類37誌299点を収録した。文献から目録を作成するにあたっては、原則として原本を閲覧することとした。しかし、筆者の事情から原本を閲覧し得ず、原本から直接の複写によった場合もある。また、確実な復刻書がある場合はこれを利用した部分もある。

このように、原本又はこれに最も近い資料のみを用いたのは、内容はもちろん、著者名、論文名等、発行所、発行月日等について、その異同も含めて記載の正確を期したためである。したがって、他の文献の引用、記載から間接的に目録を作成することは行っていない。

次項で述べるごとく、文献から抽出した記事の範囲を拡げたため、収録した文献も、考古学、地域史に関する専門書・誌に止まらず、一般的な図書も含まれる結果となった。このことは、我が国で考古学の創成期に携った先人が、学問の方向を模索し、その普及啓蒙に尽力した足跡を示すものであり、また、一方において、国民の教育的水準の向上、新知識吸収への関心の高さを現したものと見えよう。

図書は刊本を原則としたが、例外的に写本3点を含めた。これについては後記するが、共に地域史資料として内容に富むものでありながら、広く知られる機会が少ないため紹介の意味を含めて収録した。

雑誌類については、2例を除き新聞は含まれていない。新聞が、新知識、新知見等の発表に

大きな役割を果たしていたことは、横浜市戸部貝塚のごとく、新聞にのみ成果が発表された例(文献137)や、専門誌にも新聞記事の抄録が見られることから十分にかがえる。

しかし、膨大な量の新聞から記事を抽出することは、その所在調査の困難さも含めて、不可能であった。地域紙に限定して試みたがマイクロフィルム化されている場合が多く、筆者の視力を以ってしては到底及ぶところではなく断念した。

雑誌に掲載された論文、記事等の目録作成に際し、最も懸念したのは、途中で廃刊、終刊した場合の最終号の確認であった。これについては、東京大学明治新聞雑誌文庫の北根 豊氏にお尋ねしたところ、明治20年代から30年代初期に関しては『通信公報』を、他には国立公文書館蔵の廃刊届を調査する方法があるが、全誌については困難であろうとの御教示を戴いた。折角の御教えにも拘らず今回は果せなかったことをお詫びする。

例外的2例は、上述した図書に倣って扱った。

以上のほか、筆者として非常に関心があったのは“絵はがき”である。絵はがきは、日露戦争後大いに流行し、各地でも地域の特色ある風物を収めたものが作成される中で、考古学的資料も取上げられている。

地域学史研究の一面として、一般の人々が考古学又は地域史に示した理解、関心の動向を知る上で注目すべき資料であったが、その殆んどが、原画制作・撮影者、発行時期、発行者が不明であったため収録しなかった。

本稿を作成するにあたり、筆者の閲覧した文献は、収録文献の約3倍に達する。本県に関する考古学的事項の有無について、書名、誌名、論文等題名からでは把握し難い場合が多かったので、各文献を通読し、遺跡名・事項等を抽出する方法を採らざるを得なかった。そのため、閲覧してみなければ、該当事項の有無が判らず、該当の無い文献が多い結果となった。

## 5 収録文献の内容

本稿の文献目録の記載は、従来刊行された目録のそれとはやや趣きを異にしており、それが特色とも言えよう。

従来の目録が考古学に関する専門的研究、報告、論考等に主眼を置いて編集されているのに対し、本稿では、こうした内容の他に、考古学に関する周辺的な事項をも含めている。即ち、一般書の観光案内や、旅行記等で、県内の遺跡、遺物に関して記述のあるもの、専門雑誌の雑報、雑録、彙報等の小記事でも、本県に関係する発見、資料収集、展覧、寄贈、人物動向などが記述されているものなどである。また、他県域の遺跡に関する研究報告や記事等のうち、本県の遺跡、遺物について引用などの記述がなされている場合も同様に収録した。

この目録でもう一つ特異とする点は、著者のみならず被記者についても氏名、記事内容を記載したことである。被記者というのはいささか耳慣れない言葉ではあるが、特に雑誌類の記事中に、本県関係の調査、発見、出陳、寄付、講演等を行った人物として記述されている人物を指す。こうした人物に関する記事は、ほとんどが零細な記事であり、著者名も不明な場合が多く、記事題もない場合、或は包括的な題に含まれていることが多く、従来の目録には収録された例が無いようである。

こうした零細な記事、記述でも、むしろ、零細だからこそ、集成し整理することにより、そこから考古学形成期において県内の遺跡、遺物が研究者からどのように扱われ、位置づけられていたか、研究者や地域関係者の動向、一般の人々の関心、理解のあり方などをより具体的に読み取ることができると考え、本稿に収録することとした。

## 6 収録した遺跡・事項

遺跡・事項目録は、文献目録に収録した文献に記述の見られるものについてまとめてある。この中、文献に現れた遺跡をどのようにして現在の遺跡に比定したかに関しては、今後に残る課題もあるのでこれについて触れておく。

遺跡の呼称は、それが所在する地名又は社寺・学校等の施設名を冠している例が多い。地名を冠した場合、地名に対する関心が明治期にはかなり大雑把なため、現在の遺跡と比定する際に大きな障害となった。具体的に述べると、まず、地名の誤りがある。文献10では上総国平山村（正しくは下総）、文献39では常陸国印旛郡別所村（同下総）と国名を、文献298では長生郡兜塚（同山武郡）と郡名を、文献349では千葉町登戸王子社（同香取町香取王子台）と町名を、文献149・212では千葉町千葉寺（同亥鼻）と大字名を誤るような例が多く見られる。誤りであるものについては、他の文献、現地に就いて誤りであることを確認し、その上で正しい地名を求め改めた。

ついで最も障害となった点は、所在地名の多くが大字名となっている旧村名、或は明治22年以降の町村名までしか記載されていないことであった。旧村域である大字の中にも何か所かの遺跡の所在が知られている場合が多いし、ましてやこれらが合併した後の町村域となれば更に広いものとなり、遺跡の比定は、より困難であった。

施設名を冠したものについては、明治以降の施設の移転経過等を確認する必要がある。この中で、何処傍或は何々近傍のごとく呼称されている場合、文献の記述に該当するような遺跡が隣接して所在するような場合は別として、傍や近傍の範囲をいかに判断するかに苦慮した点が多かった。

一例を我孫子停車場傍遺跡(遺跡149)にとると、現在の駅の位置は、規模の拡張を別とすれば明治以降変わっていないとのことである。駅構内の遺跡の有無は不明であるが、現在の状況では駅構内に隣接して縄文時代前期に属する関東遺跡が所在する。しかし、文献に記述の見られる土版を出土する遺跡とは考えられず、現状からは、駅から南西にやや離れた大光寺貝塚(遺跡170)に比定するのが妥当かと判断した。

上述したいずれの場合についても、文献の記述中から、小字名、遺跡の立地状況、性状、遺物の特質などを求めて比定に努めたが、結果として果せないものが多かった。

以上の如く、現在の遺跡との比定には多くの問題が残っている。また、凡例にも記すが同一遺跡で呼称を異にする場合等の取扱いについても整理し切れていない点もある。したがって、遺跡目録中の現在の遺跡に比定した部分に関しては、一つの目安、参考として考えていただきたい。

遺跡の所在地に関しては苦労があったが、反面、その中に形成期にあった若い明治の学問の姿をうかがうこともできたと思う。初めに大雑把と述べたが、そこから出発して、学問の成長につれ、遺跡に対する認識も深まって行く途中の過程にあったのである。我国の遺跡地名表の嚆矢である東京帝国大学編「日本石器時代人民遺物発見地表」は、明治30(1897)年から昭和3(1928)年までに5版を重ねているが、大正6(1917)年の第4版から遺跡所在地名が市町村・大字・字・小字に区分して表記されるようになったことがその過程を良く示しているといえよう。

## 7 例外及び特記的事項

文献、遺跡のうち例外的に収録したものがあことは述べたが、これらについて取扱った理由のほか若干の説明を施しておく。また、特記すべき事項を有する文献についても触れておく。

### (1) 例外的に収録した文献

ア 吉橋泰民「市原郡瀬又明星アナ横穴記事」『千葉新聞輯録 5』所収(文献2)

新聞記事であるが、明治期における県内横穴の発見記事として初出であること、また著者が医師であるため、遺物特に人骨の出土状況を正確に観察している点が注目されるので収録した。

以下に主要部分を掲げておく。(誤字、合字は改めてある)

- 上總國市原郡瀬又村字入女ノ内川岸山ノ腰嶮岨ノ處ニ横穴三四箇所有リ里人之ヲ明星アナト云フ(略)右入女山ノ邊追々横ニ取り崩シ十五日[筆者註 七月]ニ至リ凡ソ五六間程ニテツノアナノ留リ一段高ク三四尺土壇ノ上ニ三ツノ骸骨アリ左右ノ二ツハ碎散シタレトモ中央ノツハ大ニシテ後ロノ方ニ倚リカヽリ宛カモ妻子ヲ携テ入定シタルモノヽ如



ク其髑髏平額ニシテ高サ凡五寸天庭ヨリ亞門ニ至ルマテ凡九寸五六分離レタル額ノ廣サ凡四寸三四分脛ノ中程細キ處ニテ回り凡三寸六七分長凡一尺四寸五六分思フニコレ六七尺ノ大男ナルベシト其餘脊髄等ハ腐朽シテ一々改メカタシ下ニ刀劔矢ノ根ト覺シキ物二三アレトモ共ニ腐敗シテ形狀詳カナラス外ニ二三間宛隔テニツノ穴ニ各一人ツツ骸骨ノ存スルアリ脛ノ長サ凡一尺九分餘五尺四五寸ノ中男ナルベシト是從者ノ入定シタルモノ耶 (略)

入定とすることとき解釈の誤りはあるものの、明治7 (1874) 年という時期では止むを得ないことであろう。

なお、本文献については、文献10の末尾に触れられているが、遺跡の性格を貝塚と混同するような記述になっている。

『千葉新聞輯録』は、千葉町 開智社 (藤代龍蔵) より刊行された表紙共16丁の小冊子で、第1号～第8号 (明治7.7.10.～7.8.15.) の所在が知られている。その性格は、新聞各紙の抄録紙とも言うべきもので、第1号の広告に次のように発刊趣旨を述べている。

(略) 方今國內各所ニ於テ刊行スル者既ニ七十餘種ニ及ベリ (略) 但其種類益多ケレハ購求ノ煩亦少シトセズ況ヤ遠郷邊陲ノ人ニ在テ各種之ヲ購シ每號之ヲ閱スルハ抑又容易ノ事ニ非ス依テ今般官許ヲ得テ一新聞ヲ発兌シ正院諸官省ノ布令本廳ノ公告ヲ首ニ掲ケ次ニ府縣ノ新聞紙中緊要ノ事ヲ摘録シ併セテ管内孝子貞婦兇賊惡漢ノ事故ニ至ル迄盡ク記載セントス其意蓋シ衆人ト共ニ見聞ヲ廣メ知識ヲ開クノ樂ヲ同フシ (略) 此冊子ヲ買讀セハ彼購求ノ煩ヲ省キ一目了然ノ快アルノミナラス亦維新ノ世開化ノ人タルニ背カシト云ベシ

原紙は東京大学法学部附属近代日本法制史料センター明治新聞雑誌文庫所蔵

マイクロフィルムは千葉県立中央図書館所蔵

#### イ 『史海近事』 (文献132, 133, 137, 138)

成田山文化財団成田図書館所蔵の新聞切抜帳全7巻である。編者名は不明。所蔵の経過も不明である。

収録されている記事は明治30年5月21日から同年12月30日までの間である。新聞は中央紙のみならず、北海道から台湾に亘る全国の地方紙が多く含まれている。

収録記事の内容は、哲学、宗教、美術、歴史を中心としているが、新勝寺及び分院に関する行事、人事往来等については細かい点まで収録されている。

編者については全く記載を欠いているが、内容から見れば、上述の分野に関して学識を有した新勝寺関係者と推定できる。また、全国的に地方紙を購読ないしは収集するとなれば、かなりの経費、又は組織力が必要となろう。このように見えてくると、当時の新勝寺においてこうした条件に該当する人物として石川照勤師が浮び上ってくる。

石川師については、図書館を始めとする文化事業の推進者として、また、今日の望洋文庫に見る蔵書家として知られているが、それらについてはここでは触れない。結論的に、筆者は、本書の編者として石川師自身、又は同師の意向を受けた寺務関係者と推定している。

本書の体裁は、東京新橋警醒社書店発売のスクラップブックを使用し貼込んである。このノートは、新聞切抜専用として作られ、各ページに、紙名・発行月日を記入する欄が印刷されている。この時代における新聞切抜の盛行を示す製品であろう。

本稿目録に記載した以外に、考古学及周辺に関連した記事名を以下に掲げておく。

第2巻(明治30.7.1.～8.5.)

耳與筆担任記者 耳と筆-奥の中尊寺1～9<岡倉覚三聞書> 日本7.23.～8.1.  
四明 桓武帝陵の御事1～7 日本7.24.～9.2.

第3巻(7.31.～9.3.)

現今史学界の趨勢 国民8.29.

第4巻(9.3.～10.3.)

貝塚の発見 国民9.5.;日本太古の土着人種 東京朝日9.6.;道灌山の堅穴は如何 時事9.12.;唐津通信(9月14日) 佐賀自由9.17.

第5巻(10.3.～11.7.)

玉棺蓋石 読売・東京朝日10.23.;台湾に於ける有史前の石器時代<鳥居の説> 台湾新報10.18.;日本の博物学 国民10.29.;台湾に於ける石器時代の遺跡遺物 時事10.31.

第6巻(11.7.～12.17.)

史料編纂事業 秋田魁11.20.

第7巻(12.17.～12.30.)

青森県の堅穴発見 国民12.23.;珍奇なるコロボックル遺跡 時事12.26.

ウ 武井友次郎『夷隅郡誌』(文献295)

謄写版刷、更紙二折、55丁の冊子で紐綴となっている。緒言から見ると、地域の学校へ配布する稿本のようにあり、身の事情から急いで印刷したため、部数も多くなかったと思われる。地元の学校等には保存されているかも知れないが、県内の公共図書館では千葉県立中央図書館に1部所蔵されているのみである。

構成は、郡の概要に次いで各町村毎に地勢、現状、古事、古跡、人物、社寺、特産物の順に記述している。

発行年月日、発行者は記載されていないが、緒言は明治38年4月10日、発行者は著者自身と

思われる。緒言の中から、印刷の前後の事情に関係する部分を次に示す。

(略) 先手中ノ材料ト、見聞セル所トヲ經緯トシテ編纂シ。聊以テ各校ノ参考ニ資セント決意シ、學期末ノ休暇ヲ利トシ筆ヲ執ルコト三日。時ニ命アリ、大原校訓導ニ任スト。(略) 斷然諸障害ヲ排シテ、専心一意ニ成稿ヲ急キヌ。事情如スクナルヲ以テ、全編ニ亘リテ錯誤甚シカランモ、拙速ヲ貴フノ今時、一々調査スルノ餘裕ナシ。他日校正補遺シテ其罪ヲ贖フヘケレハ。讀者暫之ヲ恕セヨ。

著者の武井については、梶原正方氏の御教示によれば、明治33年9月3日に大多喜高等小学校訓導として赴任し、その後同尋常小学校訓導となり38年3月31日に大原高等小学校に転じたとのことである。

#### エ 安川辰蔵『千葉家旧墳墓調査資料』(文献319)

千葉県立中央図書館所蔵の著者自身による写本である。原本及び出土した蔵骨器の一部は著者の縁戚に当たる吉田公平氏(千葉市園生在住)が所蔵されている。

吉田氏の御教示によれば、原本は大正15年6月千葉県図書館(現県立中央図書館の前身)で開催された千葉県史料展覧会に出陳され、その折に館の請により著者自身で写本を作成し寄贈したとのことである。

内容は、塚配列図、石室所在地周辺の地図、地籍図、1号甕の図、2号甕の図、3号甕の図、荒蕪地発掘許可願の7点で、これを製本して表記の題名が付してある。

甕の図は見取図で、水彩で美しく彩色され、塚配列図も水彩で風景画的仕上げである。

発掘許可願は、都賀村園生区西街道156番地の墓地3反22歩の内東側一部荒蕪地凡1畝5歩を対象とし、目的は郷土史編纂となっている。千葉警察署宛に、千葉郡都賀村立三和尋常小学校長の著者と、右地所地主惣代中村彦左エ門の連名で提出され、著者の印は公印を使用している。提出年月日は明治39年4月 日となっており、日付を欠く。

著者が目的とした郷土史がいかなる形で完成したかが明らかでないのは残念であるが、この時期において、自ら発掘を試み、その結果に基づいて郷土史を構成しようとした著者の態度は注目すべきものである。

#### オ 野村藤一郎『成田町誌』

カーボン複写、半紙二折、本文174ページ、付録表・図3。成本の体裁をなしているが、稿本であったかも知れない。いずれにせよ作製部数は少かったと思われる。公共図書館では成田山文化財団成田図書館に1部所蔵されているのみである。

内容は、凡例によれば成田町の地理、歴史の概要を誌したものとなっているが、歴史に関し

では第2篇第4章郷土の沿革として67～88ページが宛てられている。考古学的事項は第5節古蹟・古墳（82～88ページ）中に見られるが、古墳等の遺跡を中世武将の伝承譚に結び付けて理解している。遺跡に関する理解は別として、所在を知る上で参考となる。

明治22年に新市町村制が施行されるが、その後、新市町村誌の編纂に活発な動きは見られず、大正期に入って、各郡誌編纂が始まる。その間に執筆された数少い町村誌の一つで、全体として良くまとめられている。

著者の野村藤一郎については、本文巻首に成田尋常高等小学校訓導とあるが、経歴等の詳細は明らかにし得なかった。

以上に述べた文献のうち、ウ～オの3点の著者は学校教員である。他にも文献333に小熊吉蔵のことが見え、明治後期から地域史研究に学校教員が大きな役割を果たすようになった動きを示している。

## （2）特記事項を有する文献

### ア 小杉楹邨「上古の甲冑」『如蘭社話 27』所収（文献59）

明治24年1月、偶然に発掘された木更津市大塚山古墳の出土品に関する最も早い報告で、出土品のうち金銅毛彫動物文を施した眉庇付冑、金銅挂甲片の写生図と、参考に仁徳陵出土甲冑の図が添えられている。この文献は、後に『考古学会雑誌2-4』に同題で再録（文献153）されているが、図は仁徳陵出土冑のみで大塚山古墳出土品は省略されている。

『如蘭社話』が考古学関係者にあまり知られていない故か、従来の文献目録では文献153が収録されているが、文献59を原文献として収録するのが適切と考える。

この雑誌は、郵岡良弼が主宰した如蘭社の社員誌である。全70冊（前編50冊、後編20冊、なお編については前編には表記されていない）、大正5年7月5日刊まで継続した。

雑誌の性格、内容に関して、巻1の附録「如蘭社ヲ設ルノ趣旨」の一部を次に示す。

本社ヲ設ルノ趣旨ハ、社友相會シ、内外古今ヲ問ハス、經説史論ノ、發揮、車服制度ノ沿革、哲人賢士ノ軼事、孝子節婦ノ行狀ヨリ、古器舊物勝地名蹟ノ考證、詩歌書畫俚謠方言ノ評判ノ如キニ至ルマテ、苟モ古ヲ稽ヘ今ヲ徴シ、學事ニ裨補アル者、各自聞見スル所ヲ筆録シ、（略）今假ニ科目ヲ分ツコト左ノ如シ

天文 地理 神祇 職官 典禮 制度 律令 車服 軍事 兵器 文學 譜第 孝義  
音楽 風俗 言語 飲食 農耕 工藝 販粥 醫卜 佛教 善隣 遊戯 稗史 雜款  
是其概略ノミ、其他紀ス可キノ事、何啻ニ此ニ止マランヤ（略）

また、約規の第1則によれば、「政談時事ニ涉ルコト」は禁じられていた。

郵岡良弼の流れを汲むためか、所論には国学、考証学的色彩の強いものが多く、考古学的事

項に関する論説も江戸時代以来の系譜に属するものが多い。

巻1の社員名簿には文献10, 13, 15の著者の名が見えるほか、郵岡が本県出身者であるため、ゆかりのある本県人の多いのが注目される。

#### イ 『古蹟』創刊号の逐次番号（巻号）表記

雑誌『古蹟』の創刊号は明治36年2月10日に発行された。この雑誌の性格、創刊経過は、創刊号巻頭の会告初項に“本會は、去三十五年十月及十二月に「會報」を二回發刊せしが、會務の進行に伴ひ、「古蹟」と改題して月刊雑誌となし、會報の一欄を設けて、本會の事務を報告することゝなせり、(略)”と掲げられているごとく、『帝国古蹟取調會會報』の改題誌である。

従来の文献目録では、この創刊号は第一巻第一号として表記されている。斎藤 忠氏の『日本考古学史資料集成3』（参考文献5）に掲載の本文巻首部分の写真にも第一巻第一号と見える。

しかし、この創刊号の逐次番号表記は、極めて不自然である。と言うのは、同誌の第2号は第二巻第二号と表記されており、以下同年中に刊行された第12号までは第二巻、37年1月刊は第三巻一号、以下追号となっている。

改題誌の場合、逐次番号を改題前誌から継承追号する場合（例『東京人類学会報告』以降改題誌）と、改題ごとに更新する場合（例『考古』以降改題誌）とがあるが、改題創刊号のみ巻が異なるのは理解し難い例である。

筆者の閲覧した成田図書館所蔵原誌は、第二巻第一号と訂正して表記されていた。この雑誌の逐次番号は、表紙、見返目次、本文巻首と3個所に表記されており、巻・編の不統一は見られるが、3個所とも二巻（編）となっている。ただし、当初から二と印刷されているのではなく、一と印刷された上に小さな活字の一を追押ししており、個所により位置がずれているので、訂正本ではある。しかし、印刷インクの色調は当初刷と同一か、極めて近く、印刷者又は発行者の段階で訂正した可能性が考えられる。

また、国立国会図書館所蔵原誌については、松田夫佐子氏の御教示によれば、発行者からの寄贈誌と思われるが、表紙以下の巻表示がゴム印らしきものを追押しして二と訂正されているとのことである。

以上から、『帝国古蹟取調會會報 第1号, 第2号』（明治33.12.21.; 35.10.15. 刊、なお、会告中に明治35年10月、12月刊とあるのは誤り）を第一巻とみなし、その改題誌である『古蹟』創刊号の逐次番号は第2巻第1号とするのが妥当と考える。

#### (3) 例外的に収録した事項

茨城県北相馬郡藤代町岡所在延命寺旧蔵の人物・馬形埴輪1件である。県外の事項であるが

収録したのは、江戸期の文献であるが高田與清『相馬日記 卷3』 文政元年刊（房総文庫4 昭和7.5.5. 所収）に本県の布施弁天（柏市所在 遺跡129）から移動したとの記述があるので、今後の参考としたかったためである。

延命寺の埴輪に関しては、藤代町教育委員会にお尋ねした他、萩野谷 悟氏が現地について調べられた結果を御教示載いたが、布施弁天からの移動については、何も記録が残っていないし、埴輪も現存していないとのことであった。

一方、布施弁天に関しても柏市教育委員会、萩野谷氏の御教示によれば、経緯は全く不明とのことであった。

明治期の文献で、この埴輪の移動については、初めて埴輪を実見し紹介した大矢 透（文献35、36）をはじめ、いずれも触れていない。小杉樞郎の『徴古雑抄』目次（文献401a・b）には延命寺、布施弁天（東海寺）両寺所蔵埴輪の写図があり、何等かの手懸りがあったかも知れない。しかし、刊行された第1巻以外の『徴古雑抄』の原本は、清野謙次『日本考古学・人類学史、上巻』によると散佚したらしいとのことである。

延命寺埴輪に関しては、東京国立博物館に所蔵されている同地出土の埴輪との対比、及び同寺に隣接して所在している埴輪を出土する古墳との関係の調査等が課題として残っている。

『相馬日記 卷3』の中、関係ある部分を以下に示しておく。なお、この部分の記述は、赤松宗旦（義知）『利根川図志（安政2自序） 卷2』 布施弁才天社の項でも触れている。

廿四日〔筆者註 文化14年8月25日 24は誤〕（略）岡村の林兵衛・和田村の由右衛門等、このわたりにまちむかへたれば、道しるべさせて、岡村の眞王山延命寺にまうづ、うしろの林中のおほきなる樅の木の下に墳ありて、ちひさき石の小祠あり、（略）四十年前本尊地藏薩埵の開帳せし時、この墳の中より瓶ひとつ掘出せりとぞ、そのをり將門が七人武者の塑像と馬のはにがた（土形）といふものを、開帳まうでの諸人に見せたりしが、七人武者の土形をば瓶とゞもにふたゞびこゞにうづめ、二の馬の土像をば駒墳にうづめぬといへり駒墳は寺の南のかたへにあり、此土形どもは布施の辨天のみあらか（祠）に年ひさしくつたはりしをこひもとめて、將門が時のものゝやうにいひなせしなりとぞ、按にこはいにしへの葬送具にて、土師宿禰がつくり出で殉死人にかへしものゝ類なるべし、（略）

## まとめに代えて

以上述べた中の各所で触れたごとく、本稿の目録は不十分な点が多々ある。所在の確認できない文献、所在が判っても未閲覧の文献があり、特に県内刊行の文献で未収録のものが多いことは大きな欠点と言えよう。また、収録した文献についても、筆者が原本等について通読はし

たものの、再読三読し得なかった文献も多く、読落した点も多かろうし、誤読した部分もあると思われる。

これらについては、今後とも作業を続ける中で補訂し、稿を改めたいと考えている。冒頭で述べたごとく、筆者の目的とする所は地域における研究史を体系化して構成することであり、本稿のごとき目録はその手段、過程である。しかし、過程を経ずに目的には至らないので、江所期以降の他の時代についてこれからも作業を継続して行く。

不十分な点が多いにもかかわらず発表することにしたのは、多くの方から誤りや追加すべき点を御指導いただきたかったことと、また、この目録が本県に関する考古学上の研究にいささかでも役に立つことがあればと考えたからである。

## 謝 辞

本稿を作成するに当り、文献の所在等調査については、千葉県立中央図書館の職員の方々に種々とお手数をお掛けした。文献の閲覧照会等については、一々館名を記さないが、国立国会図書館のほか、多くの県内図書館を利用して載いた。雑誌の閲覧に関しては、国立歴史民俗博物館、東京大学法学部附属近代日本法制史料センター明治新聞雑誌文庫、成田山文化財団成田図書館の方々に負う所が大きかった。

遺跡、事項等の現状、所在、地名、関係者等については、県内各市町村教育委員会、市町村史担当部局、県外では藤代町教育委員会に御教示戴いた点が多い。

その他、先学、知友の方から、各方面に亘り数多くの御指導、御協力を賜った。以下にお名前を記させて戴く。(五十音順、敬称略)

麻生 優、天野 努、阿由葉 司、石井 穂、石橋良子、市原 允、伊藤泰和、今井公子、岩沢利正、江尻和正、大川元希、大野政治、大原正義、小笠原あや子、岡村和穂、岡本 勇、梶原正方、川島正男、勝又貫行、北根 豊、久保木 良、栗本佳弘、佐野邦雄、三森俊彦、下津谷達男、杉山晋作、梶山林継、須田 勉、互井 弘、高木博彦、高野貞亮、高橋一元、谷 旬、田村言行、豊田佳伸、西沢隆治、根本金衛、根本 弘、萩野谷 悟、長谷川隆政、平川裕子、平野雅之、藤川 昶、古里節夫、堀越正行、堀部昭夫、松浦有一郎、松下邦夫、松田夫佐子、光江 章、望月幹夫、森田 保、山浦 清、山田常雄、山本 勇、吉田公平、米田耕之助

御協力を賜った方々に、衷心より御礼を申し上げるとともに、今後とも御指導をお願いする次第である。

### 主要参考文献

学史料・文献目録等（編著者名五十音・同一著者刊行順，以下同じ）

- 1 岡本 勇・麻生 優編 『日本石器時代総合文献目録』 昭和33 三鷹 山岡書店
- 2 清野謙次 『日本人種論変遷史』 昭和19 東京 小山書店
- 3 清野謙次 『日本考古学・人類学史上・下巻』 昭和29・30 東京 岩波書店
- 4 斎藤 忠編 『日本古代遺跡の研究 文献編 上・下』 昭和46 東京 吉川弘文館
- 5 斎藤 忠編著 『日本考古学史料集成 2 明治時代一，3 明治時代二』 昭和54 東京 吉川弘文館
- 6 斎藤 忠編 『日本古墳文化資料綜覧』 昭和57 京都 臨川書店
- 7 斎藤 忠 『日本考古学史辞典』 昭和59 東京 東京堂出版
- 8 新羅愛子編 『新訂房総研究文献総覧 千葉県関係論文目録』 昭和51 東京 千秋社，東金 多田屋（発売）
- 9 千葉県公共図書館協会編 『千葉県郷土資料総合目録』 昭和48 千葉県立中央図書館
- 10 千葉県公共図書館協会編 『千葉県郷土資料総合目録 第2集』 昭和59 千葉県立中央図書館
- 11 中谷治宇二郎 『日本石器時代文献目録』 昭和5 東京 岡書院
- 12 平野元三郎・伊藤利夫・金子浩昌編 『千葉県石器時代遺跡地名表 県下の石器時代遺跡の分布とその文化』 昭和34 千葉県教育委員会

### 地名辞典・地名表等

- 13 角川日本地名大辞典編纂委員会編 『角川日本地名大辞典 12千葉県』 東京 角川書店
- 14 酒詰仲男 『日本貝塚地名表』 昭和34 京都 土曜会
- 15 千葉県企画部企画課編 『千葉県埋蔵文化財分布図』 昭和53 千葉県広報協会
- 16 千葉県教育庁文化課編 『千葉県所在貝塚遺跡詳細分布調査報告書』 昭和58年 千葉県教育委員会
- 17 千葉県地方課編 『千葉県町村合併史上・下』 昭和32 東京 菱書房
- 18 千葉県立中央図書館編 『千葉縣市町村変遷一覽』 昭和39 千葉県立中央図書館
- 19 千葉県立中央図書館編 『千葉県地名変遷総覧』 昭和45 千葉県立中央図書館
- 20 東京帝国大学編 『日本石器時代人民遺物発見地名表 第4版』 大正6 東京帝国大学
- 21 東京帝国大学編 『日本石器時代遺物発見地名表 第5版』 昭和3 東京 岡書院

### 地域学史研究

- 22 小田静夫 「下総国香取郡滑川町字栗山発見の石器をめぐって」 『史館』15 昭和58
- 23 川戸 彰 「郷土史研究の先覚小熊吉蔵翁の事績」 『千葉文華』7 昭46
- 24 新羅愛子 『房総研究文献総覧 附房総研究略史』 昭和44 千葉 京葉企画社
- 25 高木博彦 「千葉県印旛郡竜角寺古墳群研究小史」 『千葉県立房総風土記の丘年報』2 昭和53
- 26 高橋 寛 「岩屋古墳—近代考古学以前—」 『千葉県立房総風土記の丘年報』9 昭和61
- 27 田村言行 「佐倉と考古学」，「佐倉と考古学 その二」 『佐倉市史研究』3，4 昭和60，（3），60，（12）
- 28 千葉県教育委員会編 『印旛・手賀沼周辺地域埋蔵文化財調査 本編』 昭36 千葉県教育委員会
- 29 千葉県教育庁文化課編 『千葉県富津市内裏塚古墳群測量調査報告書』 昭和61 千葉県教育委員会
- 30 堀越正行 「所謂「平山村土偶」の検討」 『史館』13 昭和56



- 31 藤下昌信 「印旛地方における考古学研究の動向」 『大野政治先生古稀記念房総史論集』 昭和55 成田  
大野政治先生古稀記念論集刊行会
- 32 余山貝塚資料図譜編集委員会 『余山貝塚資料図譜』 昭和61 東京 国学院大学考古学資料館

## II 凡 例

### 1 遺跡・事項対照文献目録

- (1) 各ページ左側から、番号、著者・被記者名、書名・論文名・記事名、収録した雑誌類名・巻号（図書の場合は、単行書・叢書の区別、発行者）、発行月日、対照する遺跡・事項番号の6欄から成る。
- (2) 配列は、刊行年月日順とし、年ごとに区分した。同日発行の文献が2件以上の場合は、雑誌（創刊順）、図書の順に配列した。発行日不明の場合は、月の末に配列した。
- (3) 番号は、通番号とした。雑誌の場合、図・写真等と本文とが別になっているものは、同一番号にA、B…（大文字）を付して区別した（例320A・B）。同一文献の中で、2名以上の著者が執筆し、分担が明示できる場合（例302B）、被記者が2名以上の場合（例146）、小題・小項目があり明示した方が便利な場合（例348）には、a、b、c…（小文字）を付して示した。
- (4) 著者・被記者名は表記通りとした。場所により異同がある場合には、異同個所上部に<sup>・</sup>を付し、後の〈 〉内に異同内容を示した。
- (5) 著者・被記者名が姓又は名のみの場合、明らかに人物が特定できるときは〈 〉内に姓又は名を補った（例337）。また、号・頭文字・略称等で表記されている場合は、特定できる人物を→で示した（例30）。
- (6) 図等の著者が表記されていない場合でも、図中の署名、本文中の記述から著者を特定できる場合には〈 〉内に氏名図として補った（例77）。
- (7) 著（編）者が機関名の場合で、本文等から実際に著作に当たった個人が特定できるときは、〈 〉内に個人名を補った（例134）。
- (8) 標題紙の無い単行書の書名は、巻頭又は表紙から記載した。表記場所による異同は、異同個所上部に<sup>・</sup>を付し、後の〈 〉内に異同内容を示した。
- (9) 雑誌類の論文・記事名は、本文から記載し、目次との異同は、異同個所上部に<sup>・</sup>を付し、後の〈 〉内に異同内容を示した。
- (10) 被記者に関する記事については、〈 〉内に談話、寄付、出陳等の被伝事項を略記した。また、必要のある場合、若干の説明的事項を〈 〉内に補記した。
- (11) 検索の便を考慮して、記事分類を論文・記事名末尾の【 】内に記載した。分類は、論説及報告を論報、評論及彙報を評彙のごとく略記し、雑録、彙報のごとく2字の場合はそのまま記載した。

- (12) 収録雑誌名、巻号は略記した。初出の略記誌名には、末字上段に\*印と初出順に番号を付した。この番号は、「IV 収録雑誌類一覧」の番号と対応する。正規の誌名、巻号表記は、この一覧に記載してある。
- (13) 図書は、単行書、叢書に区別し、「単」、「叢」と略記し、その後に発行者名を記載した。
- (14) 出版届出・許可月日が記され、発行日の記載が無い場合は、便宜上届出・許可月日を発行月日欄に記入し、〈届〉・〈許〉と付記した。
- (15) 雑誌類の論文等で再掲されている場合、原文献については再掲再掲文献番号(例22)、再掲文献については文原文献番号再と遺跡・事項番号欄末尾に註記した。また、参照すべき文献については、□文の後に番号を記し、同欄に註記した。

## 2 収録雑誌類一覧

- (1) 「I 遺跡・事項対照文献目録」に収録した論文・記事を掲載した雑誌類について、上段から、番号・誌名、発行地・発行者、改題事項(「」の改題)、初号発行年月日・初号の逐次番号(巻号)表記、改題事項(「」と改題)の順に記載した。
- (2) 番号は、1(12)記載の通りである。
- (3) 誌名は、各誌の前表紙から記載した。
- (4) 発行者は、初号の発行者を記載した。
- (5) 改題事項を有する雑誌類でも、改題前誌が目録に収録されていない場合(例35)、改題後誌が収録されていない場合(例9)には、改題事項を省略した。
- (6) 改題誌については、発行者・逐次番号表記は改題初号を記載した。
- (7) 逐次番号の表記方法を途中で変更している例は多いが、変更事項の記載は省略した。

## 3 著者・被記者別文献索引

- (1) 著者名は、姓名、機関名で記載することを原則としたが、号、筆名しか知り得ない場合は、表記のままを記載し、五十音順に配列した。
- (2) 号、頭文字、略称等は、姓名、機関名の後に( )を付して記載した。
- (3) 文献番号の記載は、次のように区分した。
  - ア 著作の場合はそのままの番号を記載した。
  - イ 被記事項が記述されている場合は《 》内に番号を記載した。
  - ウ 1(6)・(7)に記述したごとく補記された著作の場合は〈 〉内に番号を記載した。

- (4) 共著の場合は、各著者に文献番号を記載し、その後に→( )を付し、内に共著者の姓を記載した。
- (5) 著作の中に被記者がある場合は、共著と同様に記載したが→( )内の被記者名に〈 〉を付した。

#### 4 文献対照遺跡・事項目録

- (1) 各ページ左側から、番号、遺跡・事項、遺構遺物等、現在の遺跡名、所在地、文献番号の6欄から成る。
- (2) 配列は、旧国・郡・現行市町村ごとに分け、以下によった。
  - ア 旧国は、下総、上総、安房の順とした。
  - イ 郡は、下総国は千葉、上総国は市原を起点として時計方向廻りとした。
  - ウ 市町村は建制順とした。
  - エ 各市町村内の遺跡等は、所在地の町名または大字名の五十音順とした。
  - オ 遺跡等の所在が、市町村までしか特定できない場合は、各市町村の最後に配列した。
  - カ 遺跡等の所在地が郡までしか特定できない場合は、各郡の最後に配列した。
  - キ 遺跡等の所在地が、県内又は各旧国内までしか特定できない場合、県外及び公開活用等に関する事項は、最後に配列した。
- (3) 遺跡・事項欄の遺跡の呼称は、若干の省略をした部分もあるが、文献に記載された内容を表現するよう努めた。また、貝塚、古墳の記載の無い遺跡については単に地名のみを記載した。
- (4) 同一遺跡に異なった呼称がある場合は列記した(例4)。また、同じ呼称でも、異なった遺跡と考えられる場合には、別遺跡として扱った。(例4・34、64～67)
- (5) 遺構遺物等は文献に記述された中で主なものに限った。なお、著名な遺跡で多種類の遺物等がある場合は省略した。
- (6) 所在地は現行の町・大字名、小字名を記載し、小字名の前には字を冠した。初出の項にはふりがなを付した。表記は原則として、『角川日本地名大辞典 12 千葉県』に拠った。
- (7) 文献に記述された小字名が見当たらない場合、通称の地名として用いられている場合は、大字名の次に：を付し、その後に記載した。
- (8) 行政区画が変更されたため、当時の国・郡と異なる場合は、所在地の初項( )内に異同内容を記載し、異同のある地名の前に※印を付した。ただし、我孫子市、沼南町の場合は、現行区画の全域が変更となっているので、市・町名の後に( )を付して記載した。

## 5 用 字

Ⅲのうち著者・被記者名、書名・論文名・記事名、Ⅳのうち誌名及びⅤの著者・被記者名の用字は、原文献の表記に従ったが、一部について以下により整理した。

- (1) 漢字の中で、畧と略、峰と峯のごとく、異字体・俗字体と正字が併用されているものは正字体を用いた。しかし、郡、間のごとく俗字体が通行字体として用いられているものはそのままとした。
- (2) 変体仮名、片仮名の合字は現行の字に改めた。

III 遺跡・事項対照文献目録

番号	編著者・ 被記者名	書名・論文名・記事名	雑誌類名・巻号 区分・発行者	発行 月日	遺跡・事項番号
<b>明治3 (1870) 年</b>					
1	豊田長敦	上代衣服考〈表紙脇題 一 名神服考〉	単 豊田長敦	10.17. 〈許〉	447,449
<b>明治7 (1874) 年</b>					
2	吉橋泰眠	市原郡瀬又明星アナ横穴記 事〈管内雜報〉	千新録 <sup>*1</sup> 5	7.30.	424
<b>明治10 (1877) 年</b>					
3	松浦弘	撥雲餘興〈1〉	単 松浦弘	9.	275
<b>明治12 (1879) 年</b>					
4	安川惟禮	上總國誌	単 松雲窠 〈安川惟禮〉	1.	408, 419, 426, 442, 465, 466, 472, 483, 485, 499, 502, 505, 509, 536, 553
5	清宮秀堅	香取新誌 全	単 須原鉄二 ほか	8.17.	286
<b>明治13 (1880) 年</b>					
6	三木貞一郎	墳墓考 大友皇子 (應問)	学芸志 <sup>*2</sup> 7—38	9.	538
7	三木貞一郎	墳墓考 弟橘媛, 田道將軍, 永上川繼, 貞元親王 (應問) 〈目 ナシ〉	学芸志 7—40	11.	483, 485, 536, 558
<b>明治14 (1881) 年</b>					
8	中村不能齋	墳墓考 弘文天皇	学芸志 9—48	7.	538
9	阿部貞	總房詩史第一集〈表紙ナシ〉	単 阿部貞	12.1.	363
10	加部嚴夫	古器物見聞の記〈目 之記 及模圖〉	好古誌 <sup>*3</sup> 初篇 6	12.25.	4, 5, 33, 34, 424
<b>明治15 (1882) 年</b>					
11	澤邊顯(編)	不動塚の説	成雜誌 <sup>*4</sup> 1	3.1.	241
<b>明治16 (1883) 年</b>					
12	三木貞一郎	字津保ノ説	学芸志12—68	3.	476, 483
13	廣田彬	野手古塚建碑私祭之記〈表 紙 北總匝瑳郡野手邑内裏 塚建碑私祭之記〉	単 広田彬	3.3. 〈届〉	402, 538

14	續 簡	新撰佐倉風土記	単 中井藤右衛門	7.	242, 247, 250, 296, 303
明治17 (1884) 年					
15	廣田 彬	續北總匠磋郡野手邑内裏家建碑私祭記	単 広田 彬	4.28. 〈届〉	402
16	坪井正五郎	東京近傍古跡探鑿ノ事〔論報〕	理協誌 <sup>*5</sup> 2-7	7.1.	66, 81, 83
明治19 (1886) 年					
17	《神保小虎》	上總市原郡高谷及ヒ椿ノ土器〈寄付〉〔記事〕	人類報 <sup>*6</sup> 1	2.10.	527, 574
18	白井光太郎	貝塚より出でし土偶の考〔雑録〕	人類報 2	3.20.	4
19	《加藤知道》	千葉近傍貝塚〈第19会談話〉, 千葉近傍ニテ獲タル古物〈寄付〉〔記事〕	人類報 4	5.10.	49
20	木村政五郎	眞砂樓遺稿〔雑録〕	東人報 <sup>*7</sup> 1-7	9.23.	88
21	神保小虎	第六版圖解〈目 枕石圖解, 着色石版圖入〉〔雑録〕〈参考附言〉	東人報 1-8	10.30.	309
22	坪井正五郎	東京近傍貝塚總論	東地報 <sup>*8</sup> 8-4	11.	66, 81 再〇文45
23	《黒木安雄》	上總本納驛橋神社近傍ニテ獲タル土器〈寄付〉〔記事〕	東人報 2-9	11.	484
24	黒木安雄	上總地方の洞穴及私考〔雑録〕	同 上		442, 443, 472, 473
25	《淺井郁太郎》 〈郁ノ誤〉	安房國横穴〈第25会談話〉〔記事〕	東人報 2-10	12.	〇文28
26	井上 毅	下總國西大須賀の横穴〈横穴彙報の中〉〔雑録〕	同 上		303
27	神保小虎	下總國會谷貝塚〈貝塚彙報の中〉〔雑録〕	同 上		62, 64
28	淺井郁太郎	相模安房ノ横穴塚穴〔雜記〕	同 上		579, 582, 592, 596
明治20 (1887) 年					
29	黒木安雄	上總地方の洞穴(接前號)〔雑録〕	東人報 2-11	1.	481
30	M. S. → 白井光太郎	兩野武總間古墳彙聞緒言〔雑録〕	同 上		630
31	《金田檜太郎》	上總市原郡の横穴〔雜記〕	同 上		〇文34
32	《上田英吉》	千葉近傍の貝塚〈第28会談話〉〔記事〕	東人報 2-13	3.	〇文38
33	若林勝邦	朝鮮土器, 圖入〔雑録〕	東人報 2-14	4.	16, 58, 66, 87, 223, 409, 454, 456, 471, 527

34	金田 檜太郎	上總國市原郡内横穴報告 【雑録】	東人報 2—15	5.	407, 413, 420, 423, 482
35	大 矢 透 〈坪井正五郎 縮写〉	下總北相馬郡の土偶土馬の 圖【雑録】	同 上		629 ⇨文36
36	大 矢 透	埴輪を見る記【文苑】	大八学 <sup>*9</sup> 15	9, 10.	629
37	坪井正五郎	本邦諸地方に在る横穴は穴 居の跡にして又人を葬るに 用るし事も有る説	東地報 9—5	9.	303, 407, 413, 420, 423, 443, 472, 473, 481, 579, 582, 592, 596
38	上 田 英 吉	下總國千葉郡介墟記 明治 二十年三月十三日本會第二 十八會ニテ【談話】	東人誌 <sup>*10</sup> 2—19	9.	8, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 24, 29, 30, 32, 33, 35, 36, 38, 39, 41
39	若 林 勝 邦	日本製石棒, 表入【雑録】	同 上		46, 79, 269, 275
40	坪井正五郎	第三紀年會演説 明治二十 年十月九日本會第三十四回 ニテ〈目 1 紀ナシ, 2 以 下ナシ〉【談話】	東人誌 3—20	10.	46, 66
41	上 田 英 吉	内耳鍋の事に付きて【雑録】	東人誌 3—22	12.	23

### 明治21 (1888) 年

42	坪井正五郎	埴輪土偶に基いて古代の風 俗を演ぶ【雑録】	東人誌 3—23	1.	184, 629
43	《若林勝邦》	下總千葉貝塚ニテ採集セシ 土器獸骨介殼, 上總山邊郡 上貝塚村及上谷村兩貝塚ニ テ得シ土器貝殼〈寄付〉【記 事】	東人誌 3—28	6, 28.	46, 440, 451
44	若 林 勝 邦	上總下總貝塚巡回記〈目 具ニ誤ル〉【雑録】	同 上		10, 440, 451
45	坪井正五郎	貝塚とは何であるか〈目 ナ シ〉【雑録】	東人誌 3—29	7, 28.	66, 81 文22再
46	坪井正五郎	第四年會演説 明治二十一 年十月十四日本會第四十四 會ニテ大略ヲ述ベタリ【談 話】	東人誌 4—32	10, 28.	23

### 明治22 (1889) 年

47	磯部武者五郎	石棒其他【雑報】	東人誌 4—36	2, 28.	104, 286, 298, 303
48	《笠原國助・若 林勝邦》	貝塚土器破片及石器 下總 古作村貝塚〈寄付〉【記事】	東人誌 4—39	5, 28.	81
49	《田中泰鷹・月 輪眞成》	全破片, 獸骨 下總曾谷村 貝塚〈寄付〉【記事】	同 上		66
50	小澤治郎左衛 門	上總國町邸誌〈表紙 ナシ〉	単 小沢治郎 左衛門	7, 23.	28, 404, 405, 410, 411, 412, 416, 421, 426, 427, 431, 432, 434, 435, 441, 444, 445, 448,



452, 455, 458, 459, 460, 461, 463, 465, 469, 474, 476, 483, 494,  
500, 501, 504, 507, 508, 511, 514, 521, 523, 524, 528, 532, 534,  
536, 537, 538, 540, 545, 546, 547, 552, 553, 566, 570, 572, 575,  
576

## 明治23 (1890) 年

- |    |                       |                                 |                          |        |               |
|----|-----------------------|---------------------------------|--------------------------|--------|---------------|
| 51 | 邨岡良弼                  | 北總詩史 一名東省小稿<br>上下               | 単 青山堂                    | 4.15.  | 221, 242, 348 |
| 52 | 《小金井良精》               | 本邦貝塚ヨリ出テタル人骨<br>ニ就テ〈第63会演説〉【記事】 | 東人誌 6—55                 | 10.28. | □文53・56       |
| 53 | 《理科大学人類學室》→<br>東京帝國大學 | 下總千葉郡上坂尾村貝塚ノ<br>人骨〈第63会出陳〉【記事】  | 同 上                      |        | 8             |
| 54 | 邨岡良弼                  | 下總金石年表略〈目 ナシ〉                   | 如蘭話 <sup>*11</sup> 20    | 11.10. | 59            |
| 55 | 若林勝邦                  | 磐城國新地村貝塚發掘記<br>【論説】             | 東学芸 <sup>*12</sup> 7—110 | 11.25. | 43<br>再□文57   |
| 56 | 小金井良精                 | 本邦貝塚ヨリ出ヅル人骨ニ<br>就テ【論報】          | 東人誌 6—56                 | 11.28. | 8             |
| 57 | 若林勝邦                  | 磐城國宇多郡新地村貝塚發<br>掘ノ話【論報】         | 東人誌 6—57                 | 12.28. | 43<br>文55再    |

## 明治24 (1891) 年

- |    |      |             |          |        |            |
|----|------|-------------|----------|--------|------------|
| 58 | 若林勝邦 | 貝塚土偶ニ就テ【論報】 | 東人誌 6—61 | 4.28.  | 4, 33      |
| 59 | 小杉樞邨 | 上古の甲冑       | 如蘭話 27   | 12.28. | 516 再□文153 |

## 明治25 (1892) 年

- |    |        |  |          |        |   |
|----|--------|--|----------|--------|---|
| 60 | 若林勝邦   | 安房國館山港發見ノ貝塚土<br>器〈寄付〉【記事】                                      | 東人誌 7—71 | 2.28.  | 597   |
| 61 | 《若林勝邦》 | 若林氏〈動向〉【記事】  | 東人誌 7—72 | 3.28.  | 626, 628 □文62   |
| 62 | 若林勝邦   | 余が發見セシ下總、常陸ノ<br>貝塚〈目 ル〉【雜報】                                    | 同 上      |        | 97, 100, 105, 110, 176, 183,<br>318, 323, 325   |
| 63 | 若林勝邦   | 下總武藏相模ニ於ケル貝塚<br>ノ分布【論報】  | 東人誌 7—73 | 4.28.  | 8, 16, 17, 20, 21, 24, 31, 32,<br>33, 35, 36, 38, 39, 41, 61, 66,<br>77, 80, 81, 82, 83, 97, 100,<br>104, 105, 110, 141, 176, 183 |
| 64 | 三宅米吉   | 雜案數件〈雷鼓ハ貝塚時代<br>ノモノカ, 貝塚土偶ノ一種,<br>貝塚土器ノ底, 摩リ消シ模<br>様ノ貝塚土器〉【論報】 | 東人誌 7—74 | 5.28.  | 33, 34, 42  |
| 65 | 《阿部正功》 | 凹石 下總國葛飾郡古作村<br>貝塚〈寄付〉【記事】                                     | 東人誌 7—76 | 7.28.  | 81  |
| 66 | 若林勝邦   | 貝塚土器ニ存スル渦形【雜<br>報】   | 東人誌 7—77 | 8.28.  | 16  |
| 67 | 《鳥居龍藏》 | 貝塚土器片四, 石斧ニ 上<br>總國下埴生郡石神村貝塚<br>〈寄付〉【記事】                       | 東人誌 8—79 | 10.28. | 471   |

68	三宅米吉	第八回編輯事務報告〔論報〕	同上		42, 626 □文62・63・64
69	鳥居龍藏	上總國下埴生郡に石器時代の遺跡あり〔論報〕	東人誌 8—80	11. 28.	471, 478
70	《阿部正功》	下總國東葛飾郡山崎村の貝塚〈第81会談話〉〔記事〕	東人誌 8—81	12. 28.	110
71	《菊池松太郎》	貝塚土器, 鹿角, 貝殻 下總國東葛飾郡山崎村貝塚發見〈寄付〉〔記事〕	同上		110
明治26 (1893) 年					
72	《八木奘三郎》	下總國諸地方の貝塚探検〈第82例会談話〉〔記事〕	東人誌 8—82	1. 28.	626
73	《阿部正功》	下總國東葛飾郡上新宿村字向宿ニテ得タル貝塚土器一箱〈寄付〉〔記事〕	同上		137
74	八木奘三郎	千葉地方貝塚探究報告 古作の部〔論報〕	東人誌 8—84	3. 28.	53, 65, 80, 81, 83, 175
75	山崎直方	下總曾谷, 千葉の二貝塚に就て〈目 國アリ〉〔論報〕	同上		46, 65
76	《坪井正五郎》	石器時代遺跡探検ノ方針, 及ヒ埼玉茨城千葉三縣旅行談〈第85例会談話〉〔記事〕	東人誌 8—85	4. 28.	630
77	山崎直方〈大野延太郎図〉	下總貝塚遺物圖解〔論報〕	同上		46, 65
78	坪井正五郎	埼玉, 茨城, 千葉三縣旅行〔雜報〕	同上		625
79	柏木貨一郎	埼玉津賤の芋手巻〔批評〕	史海 <sup>*13</sup> 23	5. 25.	61, 66, 77, 97, 100, 104, 105, 110, 141, 176, 183
80	八木奘三郎 下村三四吉	常陸國椎塚貝墟發掘報告〔論報〕	東人誌 8—87	6. 28.	112, 119
81	邨岡良弼	小金紀行	如蘭話 36	7. 25.	145
82	八木奘三郎 《大野延太郎 図》	千葉地方貝塚探究報告 (第八十四號の續)〈欠 目ニアリ〉〔論報〕	東人誌 8—88	7. 28.	53, 80, 81, 83, 175
83	下村三四吉	茨城縣石器時代遺跡七所〔論報〕	同上		112, 119
84	本郷迂人	上總の遺跡〔雜報〕	同上		577, 600
85	坪井正五郎	西ヶ原貝塚探究報告 其二〔論報〕	東人誌 8—89	8. 28.	16, 66, 81
86	阿部正功 八木奘三郎	貝塚土器塚。横穴。所在地名表〔雜報〕	東人誌 8—90	9. 28.	69, 98, 137
87	坪井正五郎	西ヶ原貝塚探究報告 其三〔論報〕	東人誌 9—91	10. 28.	8, 66, 110
88	岡田毅三郎	下總西北部の貝塚略報(續)〈目 承前〉〔論報〕	同上		90, 112, 116, 119, 128, 130

89	坪井正五郎	西ヶ原貝塚探究報告 其四 【論報】	東人誌 9—93	12.28.	8, 110
明治27 (1894) 年					
90	《八木 奘三郎》	千葉茨城兩縣下に於ケル石 器時代遺跡ノ關係〈第92例 会談話〉【記事】	東人誌 9—94	1.28.	626
91	下村三四吉	下總阿玉臺貝塚調査ノ概要 〈第92例会談話〉【記事】	同 上		318
92	下村三四吉 八木 奘三郎	千葉茨城兩縣下に於ける石 器時代の遺跡【雜報】	同 上		318
93		貞元親王の御墓〈上総〉	史通叢 *14 2 前	1.30.	536
94		尹大納言師賢卿の墳墓〈下 総〉	同 上		296
95	《井上喜久治》	下總地方遺跡談〈第93例会 談話〉【記事】	東人誌 9—95	2.28.	626
96	《井上喜久治》	貝塚土器片 下總千葉郡加 曾利, 石器 全上, 貝塚土 器片 全國全郡千葉, 石器 全上, 石斧 全國全郡邊田, 貝塚土器片 同國同郡矢 作, 祝部及埴輪土器片, 全 國全郡滑川, 石器 全國印 旛郡八木〈寄付〉【記事】	同 上		21, 37, 39, 46, 226, 302
97	八木 奘三郎 下村三四吉	下總香取郡西大須賀村ノ横 穴【論報】	同 上		303 ⇨文26
98	八木 奘三郎	本邦諸地方より發見せる石 器の種類【論報】	同 上		81, 323
99	岡田毅三郎	常陸國新治郡牛渡村古墳發 掘の概況【雜報】	東人誌 9—96	3.28.	172
100		安房 清澄山	史通叢 3 前	3.30.	619
101	坪井正五郎	貝塚土器に於て見る所の廢 物利用の數例【論說】	東学芸11—151	4.25.	8, 110, 318
102	《井上喜久治》	下總西大須賀の横穴〈第95 例会談話〉【記事】	東人誌 9—97	4.28.	303
103	八木 奘三郎 下村三四吉	下總國香取郡阿玉臺貝塚探 究報告【論報】	同 上		8, 46, 53, 65, 80, 81, 219, 228, 281, 285, 318, 323, 325, 330, 362, 382, 471, 610, 611
104		望陀郡清川村所掘出甲冑 〈函〉, 〈上総〉	史通叢 4 前	5.22.	516
105	川 角 寅 吉	下總印旛湖沿岸ノ石器【雜 報】	東人誌 9—101	8.28.	233, 258
106	下村三四吉 八木 奘三郎	下總阿玉臺貝塚より出たる 獸骨【雜報】	同 上		318
107	《岡部精一》	房州旅行中ノ所見〈第98例 会談話〉【記事】	東人誌 9—102	9.28.	628 ⇨文108

108	岡部 精一	房州旅行中所見【論報】	同上		580, 581, 584, 585, 586, 587, 588, 589, 590, 593, 607, 610, 611, 612
109	鳥居 龍藏	本邦の丸木舟【雑報】	東人誌10-103	10. 28.	590
110	坪井正五郎	本會創立第十年會演説【論報】	東人誌10-104	11. 28.	318
<b>明治28 (1895) 年</b>					
111	加藤直種	古鈴圖對照【考説】	<sup>*15</sup> 好古叢 3-12	1. 14.	71, 536
112	大野延太郎 鳥居 龍藏	武蔵國北多摩郡國分寺村石器時代遺跡(第百二號ノ續)【論報】	東人誌10-106	1. 28.	318
113	大野延太郎 鳥居 龍藏	武蔵國北多摩郡國分寺村石器時代遺跡(前號ノ續)【論報】	東人誌10-107	2. 28.	471
114	坪井正五郎	コロボックル風俗考(第一回)〈緒言, 身体裝飾〉【漫録】	<sup>*16</sup> 風画報 90	4. 25.	34
115	坪井正五郎	コロボックル風俗考第二回(挿畫參看)〈衣服〉【漫録】	風画報 91	5. 10.	66
116		修學旅行【報】	<sup>*17</sup> 成田志 7	5. 28.	274
117	坪井正五郎	コロボックル風俗考第三回(挿畫參看)〈冠り物, 覆面, 遮光器〉【漫録】	風画報 93	6. 10.	33, 34
118	谷口守雄	成田山靈現縁起 總武鐵道名所案内	単 谷口守雄	7. 3.	242
119	坪井正五郎	コロボックル風俗考第六回(挿圖參看)〈器具, 石製の利器, 打製類, 磨製類〉【漫録】	風画報 99	9. 10.	80
120	八木奘三郎	考古學に於ける古墳の眞價【科学】	<sup>*18</sup> 太陽 1-10	12. 5.	625
121	坪井正五郎	コロボックル風俗考第八回(挿圖參看)〈土製裝飾品, 土偶, 土版, 貝殻器, 植物質器具, 日常生活, 漁業〉【漫録】	風画報 104	12. 10.	53, 77
<b>明治29 (1896) 年</b>					
122	坪井正五郎	コロボックル風俗考第九回(挿圖參看)〈鳥獸捕獲, 他の食料採集, 製造, 美術, 分業, 貿易〉【漫録】	風画報 106	1. 10.	81, 318
123	《林 若吉》	常總地方ニ於ケル貝塚ノ調査〈第112例会談話〉【雑報】	東人誌11-118	1. 28.	626 □文127
124	坪井正五郎	日本石器時代人民の口邊裝飾【論説】	東学芸 174	3. 25.	323

- |               |                            |   |                          |        |  |
|---------------|----------------------------|---|--------------------------|--------|--|
| 125           | 足立文太郎                      | 人類學瑣談 (第百十九號ノ續) <第五石器時代人骨ニ齧齒ヲ見ルコトニ就テ>【論報】       | 東人誌11-121                | 4.28.  | 39   |
| 126           | 大野延太郎                      | 常陸國霞ヶ浦沿岸旅行談 (第百二十一號ノ續)【論報】                      | 東人誌11-123                | 6.28.  | 264, 273   |
| 127           | 八木契三郎<br>林 若吉              | 下總香取郡白井及貝塚村貝塚探究報告【論報】                           | 東人誌12-127                | 10.28. | 318, 323, 330, 331   |
| 128           | 佐藤傳藏                       | 日本石器時代石棒頭部彫刻考 (卷末石版圖參觀)【雜錄】                     | 東人誌12-129                | 12.28. | 5  |
| 明治30 (1897) 年 |                            |   |                          |        |  |
| 129           | 下村三四吉<br>大野延太郎             | 本邦石器使用人民ノ美術思想 <目 の>【論報】                         | 東人誌12-130                | 1.     | 318  |
| 130           | 大野延太郎                      | 土版ト土偶ノ關係<目 と、の>【論報】                             | 東人誌12-131                | 2.28.  | 53, 77   |
| 131           | 邨岡良弼齋卿                     | 房總游乘 全  | 単 川崎伊之松                  | 4.15.  | 504, 583   |
| 132           | 汲古老人                       | 小櫃山陵考 (承前)                                      | 東朝日<史近 <sup>*19</sup> 1> | 6.24.  | 523  |
| 133           | <汲古老人>                     | 小櫃山陵考 (廿四日續き)                                   | 東朝日<史近1>                 | 6.30.  | 538  |
| 134           | 東京帝國大學<br><田中正太郎<br>・林 若吉> | 日本石器時代人民遺物發見地名表                                 | 単 東京帝國大學                 | 7.18.  | 7, 8, 10, 11, 17, 18, 19, 20, 21, 24, 29, 30, 32, 35, 36, 37, 38, 39, 41, 46; 53, 61, 66, 69, 70, 72, 77, 79, 80, 81, 82, 83, 95, 97, 98, 100, 104, 105, 110, 112, 116, 119, 128, 136, 137, 141, 152, 154, 163, 168, 175, 183; 215, 219, 226, 228, 233, 258; 281, 285, 318, 323, 325, 330, 350, 362; 375, 382; 385, 388, 392, 393; 403; 440, 450, 451; 471, 478; 577; 584, 586, 588, 594, 600, 610, 611, 612, 615, 616 |
| 135           | 坪井正五郎                      | 主要なる日本石器時代人民とアイヌとの人種的關係【論說】                     | 東学芸 191                  | 8.25.  | 8<br>⇨文56  |
| 136           | 八木契三郎                      | 常武兩國新發見の埴輪に就て【論報】                               | 東人誌12-137                | 8.28.  | 88   |
| 137           | 坪井正五郎                      | 横濱戸部貝塚調査確報                                      | 時事<史近4>                  | 9.12.  | 81   |
| 138           |                            | 古墳發見  | 国民<史近5>                  | 10.17. | 352  |
| 139           | 八木契三郎                      | 共同備忘録(第二回) <18石器時代の人骨出土地>【雜錄】                   | 東人誌13-139                | 10.28. | 31, 39, 81   |
| 140           | 坪井正五郎                      | 主要なる日本石器時代人民とアイヌとの人種的關係の有無 (第百九十一號の續) <目 の>【論說】 | 東学芸 194                  | 11.25. | 39<br>⇨文125  |
| 141           | <山中 笑>                     | 下總鴻ノ臺近傍ノ遺跡 <第130例会談話>【雜報】                       | 東人誌13-140                | 11.28. | 78   |
| 142           | 若林勝邦                       | 貝器【論考】  | 考会誌 <sup>*20</sup> 1-12  | 12.27. | 323  |

明治31 (1898) 年

143	《野中完一》	全<下総>千葉ノ石斧砥ニ就テ<第132例会談話>〔雑報〕	東人誌13-142	1.28.	2
144	佐藤傳藏	本邦石器時代遺跡より発見せる土製の蓋及蓋らしきもの〔論報〕	東人誌13-143	2.28.	187
145	《野中完一》	千葉地方ノ遺跡<第133例会談話>〔雑報〕	同上		625
146		集古會記事	集古誌	2	4.20.
a	《染谷大太郎》	第八回記事<出品目録> 白玉五個 下總國南相馬郡手賀沼鷺ノ谷出, 鏡模造品一個 同上, 石鎧一本 同上			211
b	《蒔田鎗次郎》	第十回記事<出品目録> 打製石斧 下總國東葛飾郡上ネゴ貝塚一本			119
c	《染谷大太郎》	第十二回記事<出品目録> 石器, 土器破片 下總國相馬郡鷺ノ谷村近傍			212
d	《染谷大太郎》	人面付土器片			187 ⇨文181
147	八木奘三郎	馬來形式の新遺物発見〔論報〕	東人誌13-145	4.28.	584, 610
148	若林勝邦	古鏡の大きさ〔雜録〕	考会誌2-2	4.29.	310
149	東京帝國大學 《野中完一増補》	第二版 日本石器時代人民遺物発見地名表	単 東京帝國大學	5.12.	1, 2, 7, 8, 10, 11, 17, 18, 19, 20, 21, 24, 26, 29, 30, 32, 35, 36, 37, 38, 39, 40; 53, 61, 64, 66, 68, 69, 70, 72, 77, 79, 80, 81, 82, 83, 95, 97, 98, 100, 104, 105, 110, 112, 116, 119, 128, 136, 137, 139, 141, 150, 152, 154, 163, 168, 170, 175, 183, 187, 189, 193, 206; 215, 219, 226, 228, 233, 258; 281, 285, 290, 318, 323, 325, 330, 350, 362; 375, 382; 385, 388, 392, 393; 403; 440, 450, 451; 471, 478; 577; 584, 586, 588, 594, 600, 610, 611, 612, 615, 616
150	沼田頼輔	把手の分類(前號の續)〔論報〕	東人誌13-146 <表 14ハ誤>	5.28.	8, 67
151	八木奘三郎	日本考古學 上卷	単 小林新兵衛	6.5.	4, 5, 8, 31, 39, 81, 323
152	沼田頼輔	把手の分類(接前號)<目前號の續>〔論報〕	東人誌13-147	6.28.	67
153	小杉楳邨	上古の甲冑〔論考〕	考会誌2-4	8.20.	516 文59再
154	沼田頼輔	把手の分類(第四)<目前前>〔論報〕	東人誌13-149	8.28.	16
155	坪井正五郎	日本に於ける石器時代遺物発見地の種類〔論說〕	東学芸15-204	9.25.	78, 178

- 156 沼田頼輔 日本考古圖譜 古墳物及青銅器之部 附解説〈題頭  
大野雲外 AN ALBUM OF THE PROTOHISTORIC REMAINS OF JAPAN〉 単 嵩山房 9.27. 287, 516
- 157 若林勝邦 筑後國月岡發見の兜及び其他に就て【論考】 考会誌2-6 10.15. 516
- 158 中澤澄男 常南總北の遺跡【論報】 東人誌14-152 11.20. 303
- 159 坪井正五郎 貝塚土偶の男女【論説】 東学芸15-206 11.25. 4  
〈大野雲外図〉
- 160 辻善之助 國分寺の位置【史談】 密\*2,3蔽報 220 11.25. 56, 59, 426, 431, 583, 605
- 明治32(1899)年**
- 161 大野延太郎 常陸野旅行談〈第142例会談話〉【雜報】 東人誌14-154 1.20. 625
- 162 八木奘三郎 日本考古學 下卷 単 小林新兵衛 1.31. 309, 516, 590
- 163 坪井正五郎 コロボックルの宗教的遺物【論説】 東学芸16-209 2.25. 150, 212
- 164 鳥居龍藏 常陸吹上貝塚ヨリ發見ノ人類大腿骨ニ就テ【論報】 東人誌14-156 3.20. 77, 81
- 165 八木奘三郎 埴輪總説 附石人論〈目\*2,3( )内〉【雜録】 史学界1-2 3.20. 45, 75, 88, 184, 517
- 166 八木奘三郎 上總紀行【論報】 東人誌14-158 5.20. 45, 497, 533, 538, 539, 549
- 167 若林勝邦 下總國香取郡神崎發見の石枕其他〈目 1 郎ニ誤ル, 2 ナシ〉【雜録】 考会誌2-10 6.15. 309, 314
- 168 古墳發見地名表【雜報】 同上 503
- 169 集古會記事〈目 ナシ〉 集古誌〈3〉 6.16.
- a 《染谷大太郎》 第十四回記事〈出品目録〉 貝塚土偶 千葉縣東葛飾郡手賀沼岩井出一個, 貝塚土器 同上出一個, 小磨製石斧 同縣湖北郡古戸出 168, 187
- b 《染谷大太郎》 第十五回記事〈出品目録〉 〈各種石器〉 144, 212, 261
- c 《桑野禮治》 貝塚土器小壺 千葉縣千葉郡埴橋村埴橋字草原, 輕石 同上出 17
- d 《染谷大太郎》 第十六回記事〈出品目録〉 糸車 下總國印旛郡小新田出, 曲玉 同東葛飾郡湖北村出, 管玉 同郡風早村大井 173, 190, 278
- 第十八回記事〈出品目録〉

e	《染谷大太郎》	石棒 東葛飾郡岩井天神下, 石鏃 下總手賀村泉			185, 187
170	野中完一	本邦石器時代より發見されたる紡錘車【論報】	東人誌14-159	6.20.	278
171	若林勝邦	下總國香取郡神崎の發見品〈目 ナシ〉【雜報】	考会誌2-11	7.20.	314
172A	坪井正五郎	下總國手賀沼近傍の古物遺跡(附たり染谷大太郎氏の篤志)	東人誌14-160	7.20.	170, 187, 630
B	《染谷大太郎》	寄贈遺物目録〈Aの末〉	同上		16, 39, 53, 81, 86, 92, 93, 114, 116, 122, 127, 131, 134, 142, 144, 150, 152, 156, 160, 165, 168, 185, 187, 189, 190, 193, 204, 206, 208, 210, 211, 212, 256, 260, 261, 263, 631
173	坪井正五郎	日本石器時代の網代形編み物【論報】	東人誌14-161	8.20.	8, 66, 81, 187, 318
174	鳥井・大野	地方雜俎 埋船【彙評】	歴地理1-1	10.5.	376
175	《染谷大太郎》	人類學上調査囑託〈東京帝國大学〉【雜報】	東人誌15-163	10.20.	630
176A		古墳及關係遺物分布圖〈目 本邦古墳分布圖〉	歴地理1-2	11.5.	625
B	八木槳三郎	古墳分布論(口繪古墳分布圖參照)〈目 以下ナシ〉	同上		625
177	《大野延太郎》	上總東北方の横穴〈第150例会談話〉【雜報】	東人誌15-164	11.20.	627 ⇨文180
178	《染谷大太郎》	下總手賀沼近傍の遺跡に就て〈第150例会談話〉【談話】	同上		626
179	辻善之助	國府及國分寺の位置(地在地名表參着)〈目 1圖アリ 2以下ナシ. 3所ノ誤カ〉	歴地理1-3	12.5.	56, 59, 426, 431, 583, 605
180	大野延太郎	上總國横穴調査【論報】	東人誌15-165	12.20.	464, 475, 492
<b>明治33(1900)年</b>					
181	小林與三郎述 沼田頼輔記	下野國河内郡野澤村發見の土器に就て【論報】	東人誌15-166	12.20.	187
182	大野延太郎	共同備忘録(第九回)【雜録】	同上		
a		〈104上貝塚 石劍〉			136
b		〈107, 108, 109綱島村 石斧, 土器〉			478
c		〈110岩井・大井 玉〉			187, 190
d		〈112岩井 土版〉			187
e		〈114広田原 石製品〉			211
183	大野延太郎	安房國安房郡東長田村遺跡ニ付テ〈目 に, て〉【論報】	東人誌15-167	2.20.	591



184	八木 契三郎	共同備忘録(第十回)〈135 ～138大井古墳 須恵器,織 物,靱,鈴,琥珀玉〉〔雜録〕	同 上		190
185	《大野延太郎》	安房國安房郡東長田村遺迹 〈第152例会談話〉〔雜報〕	同 上		591 □文183
186	坪井正五郎	芝公園内に存する大小古墳 の性質と其年代(承前)〈目 完入ル〉〔論説〕	東学芸17—221	2. 25.	190 再□文238
187	東京帝國大學 〈八木契三郎・ 蒔田鎗次郎編〉	古墳横穴及同時代遺物發見 地名表	単 東京帝国 大学	3. 15.	57, 84, 89, 111, 115, 117, 118, 121, 123, 124, 125, 132, 133, 135, 138, 140, 143, 151, 153, 155, 157, 162, 164, 166, 169, 172, 174, 184, 186, 188, 190, 192, 194, 195, 196, 197, 199, 201, 202, 203, 205, 207, 209, 210; 231, 235, 238, 240, 245, 272, 274; 287, 300, 303, 309, 317, 319, 331, 352; 386, 402; 407, 413, 420, 423; 442, 443, 446, 456, 457; 472, 473, 481, 482; 516, 517, 536, 562; 579, 582, 592, 596, 613, 614, 617, 618, 624
188		地方雜俎 安房〈新総房 3. 3. 記事〉〔彙評〕	歴地理 2—1	4. 5.	591
189	大野延太郎	石製模造品に就て〔論報〕	東人誌15—169	4. 20.	211, 260, 301, 310
190	八木 契三郎	共同備忘録(第十一回)〈146 立出古墳〉〔雜録〕	同 上		88
191	《大野延太郎》	常總地方旅行談〈第155例会 談話〉〔雜報〕	同 上		626
192	呦々子	下總國香取郡小御門村の公 家塚	歴地理 2—2	5. 5.	292, 295, 296
193		地方雜俎〔彙評〕	同 上		
a		下總〈新総房 4. 8. 記 事〉			85
b		上總〈海国少年 4—8〉			438
194	吾老氏	地方雜俎 下總〔彙評〕	歴地理 2—3	6. 5.	351, 397
195	和田千吉	石棺考(續)〔論考〕	考古 <sup>*25</sup> 1—3	6. 15.	516
196	大野延太郎	石製人形及び石製模造品 〔論報〕	東人誌15—171	6. 20.	301
197		下總國手賀沼古墳址の建碑 〔雜報〕	同 上		210, 631
198	山田 愨	香取郡誌 合卷	単 東莊文庫 〈奥山 田角次 郎〉	7. 20.	280, 283, 286, 287; 291, 294, 296, 297, 303; 311, 313; 316; 319, 320, 321, 322, 323, 324, 325, 327, 328, 329, 331, 332, 334; 337, 338, 339, 342, 343; 345, 346, 347; 348, 352, 353; 354; 357, 358, 359, 361, 363, 364; 372, 373; 380; 386, 389, 390, 391, 396, 397
199		地方雜俎 下總〈読売 8. 11. 記事〉〔彙報〕	歴地理 2—6	9. 5.	210
200		下總手賀村古墳跡建碑式 〔雜報〕	東人誌15—174	9. 20.	210, 631

千葉県考古学史資料目録稿

201	小杉 榎 邨	武器部類〈部類ノミデ標題ナシ, 目 甲冑附上古製青圖トアリ〉	<sup>*26</sup> 好類纂 1	9, 28,	516
202	坪井正五郎	東京人類學會創立第十六回記念會演說【論報】	東人誌16—176	11, 20,	591
203	布施 千 造	遺物古跡探究叢(十五)〈国民新聞記事〉【雜報】	同 上		352
204		名跡保存事業彙聞【彙評】	歴地理2—9	12, 5,	47
205		地方雜俎 下總〈新総房10, 19, 記事〉【彙評】	同 上		50
206	大野 延 太 郎	下總國滑川町横穴發見遺物【雜録】	東人誌16—177	12, 20,	306
207		明治三十二年集古會出品目録 第二十二回	<sup>*27</sup> 集古記〈33年分6冊合本〉	12, 30,	
a	《染谷大太郎》	鍍金寶珠鏢 東葛飾郡風早村大井所獲, 鐵鏃 東葛飾郡風早村及印旛郡白井村平塚古墳發見, 陶器 同郡手賀村岩井所得, 貝塚陶器 同郡手賀村鷺谷所得			188, 190, 212, 213, 262
		第二十三回			
b	《山中 笑》	古陶器 安房國北條海岸採取〈貝塚土器破片四, 彌生式土器破片二, 朝鮮式土器破片二〉, 石鏃 同上			598
c	《大野雲外》	古土器 上總國長生郡網邊〈島ノ誤〉發見〈高坏一, 大皿一, 杯一〉			478
d	《染谷大太郎》	石斧磨製 下總國東葛飾郡千代田村發見一、同國同郡八木村發見一			147, 251
e	《坪井正五郎》	土曲玉 安房國安房郡豊房村長田發見, 琉璃曲玉 全上			591
		第二十六回			
f	《染谷大太郎》	石斧砥石 下總國東葛飾郡新川村大字新宿出土			137

明治34 (1901) 年

208	大野雲外	模様のくら 第一集(日本石器時代の部)	単 嵩山房	1, 1 <sup>?</sup>	76, 81, 137
209	八木〈契三郎〉	共同備忘録(第十三回)〈158上総發見の埴輪土偶〉【雜録】	東人誌16—178	1, 20,	517

210	林 五策	共同備忘録(第十三回)〈161 紋様ある土器底〉【雑録】	同上		270
211	林 五策	石器時代遺跡調査遠足【雑 録】	東人誌16—180	3.20.	53, 55, 65, 69, 81
212	東京帝國大學 〈野中完一増 訂〉	日本石器時代人民遺物發見 地名表 第三版	単 東京帝国 大学	4.15.	1, 2, 8, 10, 11, 17, 18, 19, 20, 21, 24, 26, 29, 30, 32, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41; 53, 61, 64, 66, 68, 69, 70, 72, 77, 79, 80, 81, 82, 83, 90, 92, 93, 97, 98, 100, 104, 105, 110, 112, 116, 119, 120, 122, 128, 134, 136, 137, 139, 141, 144, 149, 152, 154, 156, 160, 161, 163, 168, 170, 175, 183, 185, 187, 189, 191, 193, 198, 200, 204, 206, 208, 212; 215, 219, 224, 226, 228, 233, 257, 258, 263, 267; 281, 285, 290, 299, 301, 318, 323, 325, 330, 350, 362; 375, 382; 385, 388, 392, 393; 403, 428, 437; 440, 450, 451; 471, 478, 486; 577; 580, 584, 586, 588, 594, 600, 610, 611, 612, 615, 616
213		古墳墓遺物等 下總〈国民 4.4.記事〉	歴地理3—5	5.1.	232
214	《伊藤富三郎》	明治三十四年集古會出品目 録 第三十一回 古瓦下總國分寺瓦一種	集古記	5.13.	59
215	永倉 茂	下總印旛沼南方に存する貝 塚と古墳【雑録】	東人誌16—183	6.20.	214, 216, 217, 218, 219, 221, 247
216	坪井正五郎	埴輪考 附土偶土馬模型説 明〈表 1はにわ考, 2附 以下ナシ〉	単 東洋社	7.8.	88, 111, 184, 201, 517
217	大野延太郎	石器時代土偶系統品と模様 の變化に就て【論報】	東人誌16—184	7.20.	4, 34, 105, 150
218	鈴木成章	上總の國周准郡の古塚〈目 ナシ〉【雑録】	考古界 <sup>*28</sup> 1—2	7.20.	556, 557, 558, 559, 560
219	岩井重増	兩總の遺跡【雑俎】	歴地理3—8	8.1.	408, 426, 431
220	《帝國大學》→ 東京帝國大學	明治三十四年集古會出品目 録, 第三十三回 〈各地石鏃, 鉄鏃〉	集古記	9.5. 〈合本ハ 12.31.〉	626
221	《野中完一》	安房古川の横穴〈第169例会 談話〉【雑報】	東人誌17—187	10.20.	623
222	根岸武香 山中 笑	安房探古旅行〈動向〉【彙報】	考古界1—5	10.20.	628
223	水島善吉	千葉縣君津郡の内天羽郡の 遺蹟【雑俎】	歴地理3—11	11.1.	567
224	《染谷大太郎》	土器破片, 埴輪土偶二個〈寄 付〉【雑報】	東人誌17—188	11.20.	631
225	山中 笑	經石に就きてく目 つ【雑 録】	考古界1—6	11.20.	480, 621
226	水島善古	千葉縣君津郡の内周准郡の 遺蹟【雑俎】	歴地理3—12	12.1.	553, 558

明治35 (1902) 年

227	大野雲外	埴盆土器の種類に就て【雑録】	東人誌17-190	1.20.	190,277,591
228	山中笑	房州考古巡禮(つづき)〈目承前,完結〉【雑録】	考古界1-8	1.20.	603,606,619
229	《染谷大太郎》	明治三十五年集古會出品目録 第三十六回 瓦塔一基	集古記〈表右肩 明治35年1月トアリ〉	3.7.	626
230	出口米吉	本邦生殖器崇拜略説【論考】	東人誌17-192	3.20.	113,264,273
231	根岸武香	房州考古巡禮補記【雑録】	考古界1-10	3.20.	590,608
232	若林勝邦	考古雜綴(第六回) 〈33安房の曲玉〉【雑録】	考古界1-11	4.20.	595
233	天保噪士 述 〈朝野文三郎編〉	成田と香取	単 成香館	5.25.	295,296
234	八木契三郎 a	考古便覽 埴輪總説	単 嵩山房	6.9.	45,75,88,111,151,184, 201,517
	b	古瓦の研究			59,583
235	八木契三郎 〈大野延太郎図〉	下總手賀村の埴輪土偶【雑報】	東人誌17-195	6.20.	201
236	田代善吉	安房の古跡【雑俎】	歴地理4-9	9.1.	590
237	和田千吉	畿内及關東發見模造曲玉の比較【論考】	考古界2-6	11.20.	211,301

明治36 (1903) 年

238	坪井正五郎	芝公園丸山大古墳及び其近傍に在る數ヶ所の小古墳に付いて〈目 東京市入ル〉【論考】	古蹟 <sup>*29</sup> 2-1 〈1ヲ訂正シ 2トアリ〉	2.10. 〈巻頭 ハ1〉	190 文186再
239	千里舎	諸國國分寺址 下總國分寺の遺址〈目 以下ナシ〉【雑録】	同上		59,60
240	吉田貞吉	古墳の年代を定むる事に就て(坪井博士の丸山古墳の年代推定説を論ず)〈目 1推定する,2( )内ナシ〉【歴地】	歴地理5-3	3.1.	296
241A		上總國國分寺薬師堂【写真版】	古蹟2-4	4.15.	426
241B	國分生	諸國國分寺址 上總の國分寺〈目 以下ナシ〉【雑録】	同上		426 再↪338
242	高橋二三雄	諸國國分寺址 安房國國分寺址〈目 以下ナシ〉【雑録】	古蹟2-5	5.15.	583
243	高橋二三雄	諸國國分寺址 上總國國分寺〈目 以下ナシ〉【雑録】	古蹟2-6	6.15.	426

244	大野雲外 柴田常恵	圖版考説【論報】	東人誌18—207	6.20.	201
245	坪井正五郎	東京人類學會創立第十八回 紀念會演説【論報】	東人誌18—208	7.20.	201
246	吉田文俊	下總關宿石器時代遺跡【雜 録】	同 上		177, 181
247	《板倉永助》	下總遺跡及遺物〈発見・寄 付〉【雜報】	同 上		96, 268
248	大塚則明	總武鐵道線路案内	単 渡辺商店	8.5.	22, 57, 73, 242, 296, 377, 402
249		成田鐵道名勝誌	風画報 274 〈臨時増刊〉	9.10.	167, 242, 259, 272, 274, 296, 303
250	邨岡良弼	日本地理志料〈全15冊72 巻〉, 第四本 卷十七安房, 第五本 卷十八上總・卷十 九下總	叢 東陽堂支 店	9.28.	57, 59; 221, 229, 242; 348, 352; 397, 400, 402; 408, 411, 426, 433; 463, 465; 504; 536, 558, 570; 583
251	山崎春凌	國分寺の古利 其十七下總 國國分寺【地理】	風画報 276	10.10.	63
252	吉田東伍	大日本地名辭書 坂東	単 富山房	10.12.	16, 28; 59, 66, 73, 88; 219, 221, 229, 232, 242; 283, 296, 303, 322, 348, 352, 359; 397, 400; 404, 406, 407, 411, 412, 419, 426, 431, 433, 434, 435; 443, 463, 465; 472, 481, 483; 498, 499; 536, 538, 546, 553, 556, 557, 558, 559, 570, 572, 575, 576; 583, 590, 599
253	繁鶴子	國分寺の古利 其十九國分 寺の位置【地理】	風画報 279	12.10.	59, 426, 583
明治37(1904)年					
254	八木冬嶺	學生案内 考古の栞	単 嵩山房	1.5.	105, 150, 212, 318
255		房總旅行の記事(明治三十 五年秋期旅行)・臨時遠足 【雜報】	成校誌 <sup>※30</sup> 1	1.12.	274, 583
256	汀家・溪准 →川角・栗原	常南總北遺跡めぐりの記 【雜録】	考古界 3—8	1.20.	303
257	《野中完一》	千葉縣下の遺跡発見〈野中 完一の調査 国民記事〉【雜 報】	古蹟 3—2	2.10.	375, 467, 468
258	員外生	貝塚発見の角器とアラスカ の釣針【雜報】	東人誌19—215	2.20.	318
259	高橋二三雄	房總九日の旅【文苑】	古蹟 3—3	3.10.	426, 429, 472, 506
260	《野中完一》	上總山武地方の遺跡〈第195 例会談話〉【記事】	東人誌19—216	3.20.	470 □文257
261	中田憲信	弘文天皇御陵考【雜録】	古蹟 3—4	4.10.	538
262	水谷幻花	印旛湖畔の石器時代遺跡 〈東京朝日記事〉【雜報】	同 上		216, 219
263	吉田文俊	石器時代遺物発見地名表 【雜録】	東人誌19—217	4.20.	99, 102, 105, 107, 108, 126, 177, 178, 179, 182; 225, 230, 234, 265, 266, 268, 271,

				279; 336, 340, 341, 350, 360; 371, 374, 383; 384, 387, 394, 395, 401; 414, 415, 418, 430; 451, 453; 477, 488, 489, 490; 530, 565, 568	
264	吉田文俊	下總金野井の埴輪土偶〈目下入ル〉【雑録】	考古界 3—11	4. 20.	106
265	江見水蔭 中村士徳	有髻土偶か【彙報】	同 上		219
266	大野延太郎	先史考古圖譜	単 嵩山房	5. 15.	2, 77, 81, 105, 150, 187, 190, 301, 366
267	江見忠功・神津猛・清野謙次 〈飯田東臯・員外生〉	石器時代古墳時代遺物發見地名表〈石器時代, 古墳時代の2部, 以下3名の報あり〉【雑録】	東人誌19—218	5. 20.	
a	江見忠功	〈石器時代の部〉			220, 255, 266
b	〈員外生〉	〈石器時代の部〉			220, 227, 256
c	清野謙次	〈古墳時代の部〉			50, 85, 232, 397, 538, 542
268	水谷幻花	野田遊記〈朝日5. 8. 記事〉【彙報】	考古界 3—12	5. 20.	97, 100
269	水谷幻花	人類學教室標本展覽會に關する語評〈東京朝日6. 5. 記事〉【雑報】	東人誌19—219	6. 20.	2
270	八木冬嶺	羈旅十年【雑録】	考古界 4—1	6. 20.	81, 219, 222, 224, 228, 303
271	吉田文俊	共同備忘録(第十九回)〈197東葛飾郡北部の貝塚〉【雑録】	東人誌19—220	7. 20.	178, 179, 180, 182
272	一土偶人	石器時代の有髻土偶【雑録】	考古界 4—2	7. 20.	219
273	文屋菱花 奥村殘石庵	避寒避暑 房州案内〈頭書〉	単 勉強堂 〈東京〉・宮沢書店〈北条〉	7. 20.	580, 590
274	由木要〈間〉 和田千吉〈答〉	上總に多い横穴群について【質疑応答】〈第2件〉	考古界 4—3	8. 20.	627
275	水谷幻花	千葉近傍の古代遺跡〈新聞雑誌考古資料 東京朝日6. 3. 記事〉【彙報】	同 上		48
276	坪井正五郎	東京人類學會滿二十年紀念演説〈(遺跡実査)〉【論報】	東人誌20—223	10. 20.	66, 81, 83,
277	清野謙次	六孔ある貝塚土器【地方端信】	考古界 4—5	10. 20.	323
278	大野雲外	石偶採集瑣談【雑纂】	集古誌甲辰卷 5	11. 11.	301
279	徳川頼倫	下總國東葛飾郡大字國分字堀の内貝塚【挿図】	東人誌20—224	11. 20.	55
280	小金井良精	下總國分村堀の内貝塚所出の人骨に就て【論報】	同 上		55
281	坪井正五郎	紀念遠足堀内貝塚實査に付いて〈目 1の入ル, 2就て〉【雑録】	同 上		55

282	R. T. → 鳥居龍藏	東京人類學會舉行遠足會の 記【雜録】	同 上		55
283	山崎直方	堀の内貝塚の位置と現状 【雜録】	同 上		55
284	田中茂徳	紀念遠足會採集中動物諸 類に就て【雜録】	同 上		55
285	大野雲外	堀内貝塚發見の石角貝骨器 の二三に就て〈目 1の入 ル, 2ナシ〉【雜録】	同 上		55
286	野中完一	國分村堀の内貝塚の土器類 【雜録】	同 上		55
287	吉田文俊	堀ノ内貝塚發見品目録及寫 眞版説明〈目 の〉【雜録】	同 上		55
288	和田千吉	下總國香取郡西大須賀の横 穴【論考】	考古界 4-7	12. 20.	303
289	清月山人	鴻臺の一日【雜録】	同 上		57
290	《和田千吉》	千葉縣下旅行中に於ける見 聞談, 下總國香取郡西大須 賀の横穴調査談〈11月常集 会談話〉【記事】	同 上		303 □文288
291	《和田千吉》	考古學會常集會〈11月出陳〉 【記事】 西大須賀發見品, 滑川町 發見品, 余山貝塚發見品	同 上		301, 303, 375
明治38 (1905) 年					
292	吉田文俊	日本石器時代土器内部の繩 紋に就て【雜録】	東人誌20-228	3. 20.	179
293	大野延太郎	常陸國龍ヶ崎發見の埴輪土 偶に就て【雜録】	東人誌20-229	4. 20.	201
294	和田千吉	下總國海上香取兩郡旅行中 の見聞【雜録】	考古界 4-10	4. 29.	253, 284, 289, 301, 303, 328, 354, 355, 356, 369, 370, 375, 381, 398, 399
295	武井友次郎	夷隅郡誌	単〈膳〉	4.	494, 500, 504, 505, 507, 508
296	林 天然	諸國名所案内其三百四十七 房總三州國府の舊跡【地理】	風画報316	5. 10.	56, 431, 605
297	古谷 清	東京帝室博物館歴史部上古 遺物の部案内記(承前)【雜 録】	考古界 4-11	5. 21.	6, 42
298	八木契三郎 中村士徳	考古學研究法 全	単 春陽堂	6. 7.	201, 462, 464, 493<誤>
299	《高島多米次》	第一回太古遺跡研究會〈堀 の内貝塚人骨出陳〉【雜報】	東人誌20-231	6. 20.	55
300	古谷 清	東京帝室博物館歴史部上古 遺物の部案内記(承前)〈目 ナシ〉【雜録】	考古界 4-12	6. 28.	2, 6, 42, 234
301		太古遺跡研究會【彙評】	歴地理 7-7	7. 10.	325, 631

千葉県考古学史資料目録稿

302A		下總國余山貝塚【挿図】	東人誌20—233	8.20.	375
302B	五人合筆〈目 5人氏名アリ〉	銚子紀行（貝塚掘りと海岸 巡り）〈目 掘り、〉【雑録】	同 上		375
a	坪井正五郎	發端から松岸停車場まで の記事			
b	松村 瞭	貝塚發掘記事（口繪参照）			
c	柴田常恵	滞在中の雜記			
d	坪井誠太郎	たうがらし一件			
e	三好 勇	海岸通りから出立までの 記事〈巡カ〉			
f	坪井正五郎	結末			
303		貝塚の好標本【雑報】	東学芸22—287	8.25.	375
304	坪井正五郎	東京人類學會創立第二十一 年事業報告【論報】	東人誌21—235	10.20.	179
305	古谷 清	東京帝室博物館歴史部上古 遺物の部案内記（承前）【雜 録】	考古界5—3	11.11.	42
306	《江見忠功》	海濱にて發見された石器時 代の釣針〈柴田宛書簡〉【雜 報】	東人誌21—236	11.20.	496
307	渡邊菊次郎 〈文頭 斗吟〉	君不去 くきみさらず 内題 ハ東海名勝ノ頭題アリ	単 多田屋支 店	12. 1.	513, 519, 522, 525, 536, 538, 553
308	坪井正五郎	日本に於ける貝塚の數【雜 録】	東人誌21—237	12.20.	625
309		石器時代の利器製造所【雜 報】	東学芸22—291	12.25	375

明治39（1906）年

310A		下總國東葛飾郡手賀村大字 布瀨發見埴輪馬〈目 ナシ〉 【挿図】	東人誌21—238	1.20.	201
310B		口繪説明【雑報】	同 上		201
311	古谷 清	東京帝室博物館歴史部上古 遺物の部案内記（承前）【雜 録】	考古界5—6	1.20.	6, 42
312	古谷 清	東京帝室博物館歴史部上古 遺物の部案内記（承前）【雜 録】	考古界5—7	1.25.	4, 6, 34, 39, 42
313	大野雲外	石斧の形式に就て【論報】	東人誌21—240	3.20.	625
314		成田近傍の太古遺跡【雑報】	同 上		274
315	《坪井正五郎》	太古遺跡研究の人類學的價 値（三月四日千葉縣成田町 小學校開會講談會に於て） 〈坪井理科大学教授の演 説〉【雑報】	同 上		630



316		眉唾録 佐倉宗五郎の遺骨 【評彙】	歴地理 8—4	4. 1.	243
317	桂庭生	見聞雜感 <「義民木内宗吾の骨？」という新聞記事引用>【雜録】	考古界 5—10	4. 15.	243
318	坪井正五郎	日本石器時代人民の耳飾り 【論報】	東人誌21—241	4. 20.	375
319	安川辰藏	千葉家旧墳墓調査資料 <千葉警察署宛発掘許可願, 発見壘彩色図他>	写	4.	25
320	《大野市平》	下總成田地方太古の遺跡 <坪井宛書簡>【雜報】	東人誌21—243	6. 20.	248, 252
321	和田聽泉 <目聽泉生>	上總旅行雜感【談叢】	歴地理 8—9	9. 1.	486, 487, 510
322		集古録 大友國造の墳墓 <東京毎日 8. 28. 記事転載> 【評彙】	同 上		538
323	坪井正五郎	常陸飯出貝塚發見の所謂有髯土偶と其類品【論報】	東人誌21—246	9. 20.	375
324	足立文太郎	下總國余山貝塚發見の人骨 【雜報】	同 上		375
325	坪井正五郎	東京人類學會創立第二十二年事業報告【論報】	東人誌22—247	10. 20.	375
326	坪井正五郎	千葉縣君津郡飯野地方の古墳 <目村入ル>【雜報】	同 上		553, 558
327	八木奘三郎	中間土器(彌生式土器)の貝塚調査報告【論報】	東人誌22—248	11. 20.	190, 591
328	青眠 <花見青眠>	成田及香取遠征記【談叢】	歴地理 8—12	12. 1.	303
329		集古録 内裏塚の發掘【評彙】	同 上		558
330		人類學會の旅行【彙報】	東亞光 1—8	12. 1.	24
331	中澤澄男 八木奘三郎	日本考古學	单 博文館	12. 1.	8, 31, 39, 46, 55, 81, 219, 278, 318, 330, 375
332	好古社出版部	歴史參考 集古圖譜	单 青山堂	12. 15.	368
333	柴田常惠	上總君津郡飯野村内裏塚 【論報】	東人誌22—249	12. 20.	558, 560
334A	<大野雲外>	下總國余山貝塚發見の貝輪 <目貝輪製作の順序>【挿図】	同 上		375
334B	大野雲外	貝輪に就いて【雜録】	同 上		375, 631
335	<松村以下6名氏名あるも略>	東京人類學會遠足會【雜録】	同 上		24
a	松村 瞭	發端			
b	山崎直方	地理			

c	石田 收藏	貝塚到着まで			
d	柴田 常恵	貝塚到着から散會まで			25
e	大野 雲外	園生貝塚に就て			
f	石田 收藏	動物の残り物			
g	坪井正五郎	園生行の効果			
336	水 鳥	人類學會の遠足會〔彙報〕	考古男 6—3	12. 25.	24
337	高橋〈健自〉 〈和田千吉〉	考古學會例会〈11月 出陳〉 〔記事〕 下總國分寺巴瓦一	同 上		59
<b>明治40 (1907) 年</b>					
338	畫 報 生	國分寺の古利其四十二 上 總國分寺〔地理〕	風画報 355	1. 1.	426 文241B再
339	大野 雲外	打製石斧の形式に就て〔論 報〕	東人誌22—250	1. 20.	625
340	水谷乙次郎	採集經驗錄(上)〈目 一〉 〔雜錄〕	同 上		55, 626
341	水谷乙次郎 〈目 三ニ 誤〉	採集實驗錄(中)〔雜錄〕	東人誌22—252	3. 20.	375, 626
342	足立文太郎	本邦石器時代住民の頭蓋 〔論報〕	東人誌22—253	4. 20.	375
343	高橋 健自	經筒沿革考〔論考〕	考古界 6—8	5. 10.	627
344	《關保之助》	本會常集會〈2月出陳〉〔記 事〕 上總國君津郡飯野村古墳 發掘釘一本			562
345	《和田千吉》	本會常集會〈2月出陳〉〔記 事〕 下總香取郡西大須賀出土 齋瓶一個	同 上		303
346	F. I.	日本石器時代住民の頭蓋 〔彙報〕	人 <sup>*33</sup> 性 3—5	5. 20.	375 ⇨文342抄
347	八木 奘三郎	中間土器(彌生式土器)の 貝塚調査報告(二五一號續 き)〔論報〕	東人誌22—256	7. 20.	190, 591
348	江見 水 蔭	地底探檢記	單 博文館	8. 7.	
a		地底探檢記〈26〉			77
b		大發掘二日の記			55
c		木内貝塚發掘記			53, 318, 322, 325, 333
d		園生貝塚大發掘記			24
e		疑問の遺跡探檢記			288
f		學術上の爭			55

- 349 栗岩英治 房總之半島 単 藤浪孫次 8. 8. 7, 8, 10, 11, 17, 18, 19, 20,  
 <水 滸> 郎 <発売 千 21, 22, 24, 28, 29, 30, 32, 35,  
 藤浪孫次郎 葉町 多田屋 36, 37, 38, 39, 41, 44; 53,  
 <紫 園> 書店> 57, 59, 61, 64, 66, 69, 70, 71,  
 72, 73, 79, 80, 81, 82, 83, 84,  
 88, 89, 94, 95, 97, 98, 100,  
 101, 103, 104, 105, 106, 109,  
 110, 111, 112, 115, 116, 117, 118, 119, 121, 123, 124, 125, 128,  
 132, 133, 135, 136, 137, 140, 141, 143, 151, 152, 153, 154, 155,  
 157, 162, 164, 166, 168, 169, 172, 175, 183, 184, 186, 188, 190,  
 192, 194, 195, 196, 197, 199, 201, 202, 203, 205, 207, 209, 210,  
 211; 215, 216, 219, 226, 228, 231, 233, 235, 238, 240, 242,  
 245, 258, 260, 269, 272, 274; 280, 281, 282, 285, 287, 296,  
 300, 303, 305, 306, 309, 317, 318, 319, 323, 325, 326, 330, 331,  
 350, 352, 362; 375, 378, 382; 385, 388, 392, 393, 400, 402;  
 403, 404, 405, 407, 412, 413, 416, 417, 420, 422, 423, 424, 425,  
 426; 440, 442, 443, 445, 446, 450, 451, 455, 456, 458, 459,  
 460, 461, 463, 464, 465; 471, 472, 473, 475, 476, 478, 479,  
 480, 481, 482, 483, 486, 492; 494, 495, 499, 500, 504, 505;  
 511, 516, 521, 523, 524, 526, 528, 529, 531, 535, 536, 537, 538,  
 539, 545, 546, 547, 548, 549, 550, 553, 554, 555, 556, 557, 558,  
 561, 562, 569, 570, 571, 572, 575, 576, 577; 579, 583, 584,  
 586, 588, 590, 591, 592, 594, 595, 599, 600, 601, 604, 610, 611,  
 612, 613, 614, 615, 616, 617, 618, 619, 624
- 350A 下總國海上郡余山貝塚發見 東人誌23—259 10, 20. 375  
 土偶【挿図】
- B 雲外<大野> 口繪説明【雜報】 同 上 375
- 351 坪井正五郎 東京人類學會創立第二十三 同 上 558  
 年事業報告
- 352 大の<野>雲外 人種紋様（上代日本の部） 単 芸草堂 11, 10. 516 □文380
- 353A 下總國加曾利貝塚【挿図】 東人誌23—260 11, 20. 21
- 353B 東京人類學會第三回遠足會 同 上 21  
 （下總國千葉郡都村大字加  
 曾利貝塚調査）【雜録】
- a 石田收藏 貝塚に至る
- b 大野雲外 加曾利貝塚の概況
- c 今西龍 到着から散會まで
- d 坪井正五郎 遠足會の結果
- 354 《和田千吉》 本會常集會—三月<出陳> 考古界6—9 11, 20. 59  
 【記事】  
 巴瓦及唐草瓦等 下總國  
 分寺 十
- 355 《西川勝三郎》 本會常集會—五月<出陳> 同 上 522  
 【記事】  
 <古墳物>  
 上總國木更津町稻荷森發  
 掘 鈴大小二, 刀身殘片  
 一, 金銅鐸一, 金銅足金  
 物一, 金銅罎一, 金銅鐘  
 一, 鐵製透鏢片一, 甲冑  
 殘片五, 金銅釵具殘片一,  
 銀環三, 金銅環一, 鐵鏃  
 片一

356		考古學會總集會〈第12總集 会出陳目録〉【記事】 〈古墳発見剣頭各種〉	同 上		
a	《西川勝三郎》	上總國君津郡木更津稻荷 森			522
b	《東京帝室博 物館》	上總國君津郡飯野村			562
357		雜俎 加曾利貝塚の發掘 【評彙】	歴地理10—6	12. 10.	21
<b>明治41 (1908) 年</b>					
358A		下總國海上郡余山貝塚發見 土偶〈目 の入ル〉【挿図】	東人誌23—262	1. 20.	375
B	坪井正五郎	下總余山發見の有髻土偶 (口繪参照)【論報】	同 上		375
359		地方雜俎 上總 觀音像發 掘【評彙】	歴地理11—2	2. 10.	491
360	大野雲外	石劍の形式に就て【論報】	東人誌23—263	2. 20.	626
361A		馬鐸【卷首挿図】	考古界6—12	3. 20.	287, 365
361B	高橋健自	卷首挿圖馬鐸略解【雜録】	同 上		287, 365
362	齋藤夏之助 (東瀛)	安房志	单 多田屋書 店	5. 10.	579, 583, 584, 585, 588, 590, 591, 592, 594, 595, 600, 601, 602, 604, 611, 612, 616, 617, 619, 620, 622
363		本會第十三總集會〈出陳目 録〉【記事】	考古界7—4	7. 20.	
a	《東京帝室博 物館》	〈3. 古墳時代石製品〉 枕(下總國香取郡神崎町 大字小松發掘)			309
b	《和田千吉》	鎌・臼玉(下總國香取郡 滑川町大字大須賀發掘) 〈4. 古墳時代玉の種類〉			304
c	《東京帝室博 物館》	棗玉 紫水晶製(下總國 印旛郡遠山村御料牧場發 掘)			232
d	《西川勝三郎》	小玉 縞瑠璃丸玉(上總 國木更津町稻荷森發掘) 〈5. 古瓦〉			522
e	《高橋健自》	巴瓦・唐草瓦(下總國分 寺)			59
364	井野邊茂雄	神社と古墳との關係【論説】	※34 国院誌14—8	8. 15.	296, 524, 538, 573
365	高橋健自	近年發見の經筒【雜録】	考古界7—6	9. 20.	74
366	坪井正五郎	東京人類學會創立第二十四 年事業報告【論報】	東人誌24—271	10. 20.	375
367	坪井正五郎	東京人類學會創立第二十四 年事業報告(承前, 完)〈目 ナシ〉【論報】	東人誌24—272	11. 20.	21, 631

368 A		故飯田西谷兩君追悼紀念圖 版(其1)〈故飯田東臯君蒐 集の石器時代遺物〉【挿図】	同 上		55, 146
368 B	江見水蔭	故飯田東臯君の話【雜録】	同 上		55, 146
369	松村生→ 松村瞭	第三回石器時代遺物展覽會 (附貝塚中の米)【雜報】	東人誌24—273	12. 20.	375
370	わた 《高島唯峯・水 谷幻花》	第三回石器時代遺物展覽會 【彙報】	考古界7—9	12. 20.	55, 375
371	熊田葦城 〈奥 宗次郎〉	日本史蹟 天之卷	単 昭文堂	12. 30.	296
明治42 (1909) 年					
372	坪井正五郎	土製滑車形耳飾り【論報】	東人誌24—274	1. 20.	375
373	《西川勝之助》	第六十八回出品目録【記事】 古鈴二口 上總國君津郡 木更津稻荷森出土	集古誌戊申卷 4	3. 7.	522
374	大野雲外	獨鈷石の形式分類に就て 【論報】	東人誌24—276	3. 20.	626
375		新発見の石器時代遺跡【雜 録】	東人誌24—277	4. 20.	512, 520
376		滑車形土製品一對揃ひて發 見さる【雜報】	同 上		21
377		余山貝塚に於ける多量の發 見物【雜報】	同 上		375
378	江見水蔭	探檢實記 地中の秘密	単 博文館	5. 25.	
a		〈巻頭和歌〉			281
b		江原臺の土器塚			219
c		姥山の大發掘			53, 54, 81
d		牛久沼と蠶飼川			158, 170
e		印旛沼東岸探檢			171, 230, 244, 274, 630
f		加曾利貝塚大發掘			21
g		潮來の遺跡探檢			288
h		余山貝塚の大發掘, 二度 目の余山, 三度目の余山, 四度目の余山, 五度目の 余山			375
i		故飯田東臯君			55, 146
j		珍品集			81, 146, 281, 375
k		奇談集			254, 375
l		採集袋の底			55, 375, 496
379	大野雲外	子持曲玉に就て【論報】	東人誌24—279	6. 20.	293, 367, 631
380	大野雲外	人種紋様の解説〈目『』ア リ〉【雜録】	東人誌24—280	7. 20.	516

千葉県考古学史料目録稿

381	和田千吉	埴輪より見たる佛教以前の 日本建築(第二回)【論考】	考古界8-4	7.20.	274
382	和田<千吉>	下総國北生實の古墳發掘 【彙報】	同上		9
383	高島唯峯	貝塚叢話<其一 下総國余 山貝塚の人骨>【雜録】	考古界8-5	8.20.	375
384A		上総國君津郡青堀村大字大 堀發見の彌生式土器<目 ナシ>【挿図】	東人誌24-282	9.20.	564
384B	柴田<常恵>	上総國君津郡青堀村發見の彌 生式土器(口繪説明)【雜報】	同上		564
385	高島唯峯	貝塚叢話<其二 下総國堀 の内貝塚の人骨>【雜録】	考古界8-6	9.20.	55
386	坪井正五郎	最近一年間事業報告 明治 四十二年十月九日年會席上 に於て<目 以下ナシ>【論 報】	東人誌25-283	10.20.	293, 367
387	喜田貞吉	「考古界」記者和田千吉君 と古墳墓年代考定の方法を 論じて考古家諸賢の示教を 乞ふ(三)【歴地】	歴地理14-5	11.1.	296
388	坪井正五郎	最近一年間事業報告(續) 明治四十二年十月九日年會 席上にて<目 1 承前, 2 以下ナシ>【論報】	東人誌25-284	11.20.	21, 375, 631
389	松村生→ 松村瞭	二條公府家の陳列館【雜報】	東人誌25-285	12.20.	631
390	和田<千吉>	二條公府家の紀念陳列【彙 報】	考古界8-9	12.20.	631
391	田中芳男<編>	徴古館案内陳列品目録	単 神苑会徴 古館	12.30.	219, 318, 323, 325
<b>明治43(1910)年</b>					
392	坪井正五郎	日本石器時代人民使用耳飾 りの種類及び相互の關係 【論報】	東人誌25-286	1.20.	21, 81, 146
393	《坪井正五郎》	坪井正五郎博士の古墳調査 【彙報】	歴地理15-2	2.1.	543, 544, 551
394	《坪井正五郎・ 柴田常恵》	上総國君津郡に於ける古墳調 査【雜報】	東人誌25-287	2.20.	551, 553, 564
395		人類學展覽會【雜録】	人 性6-2	2.25.	631
396		石器時代土偶研究展覽會 <921点出陳>【雜報】	東人誌25-288	3.20.	375, 631 □文408
397		二條家陳列の石棒石劍<出 陳203点目録>【彙報】	考古界8-12	3.20.	631
a	《人類學教室》				86, 168, 375

b	《高島唯峯》				30, 308, 315, 375
c	《江見忠功》				81, 219, 375
d	《水谷乙次郎》				100
e	《關保之助》				41
f	《鈴木審三》				249
g	《銅駝坊》				81, 91, 609
398	石器時代土偶研究會展覽會 〔雜録〕	人性6—3	3.25.		631
399	地方雜俎〔千葉〕珍奇なる 釣燈籠を掘出す〈読売3. 4.記事〉〔彙報〕	歴地理15—4	4.1.		27
400A	石器時代土偶研究展覽會陳 列品の一部 其一・二〈目 石器時代土偶及土版〉〔插 図〕	東人誌25—28	4.20.		187, 375
400B	石器時代土偶及び土版（口 繪説明）〈目 ナシ〉〔雜報〕	同上			187, 375
401	《小杉榎邨》 博士の編纂せられたる徴古 雜抄及び其出版、徴古雜抄 目次〔小杉博士記念録〕〈目 集〉	歴地理15—5	5.1.		
a	圖畫一下				129, 516
b	圖畫二中				129, 563
c	圖畫四中				483
d	圖畫四下				57
402	江見水蔭 小説 少年探検隊〈陸平行〉	単 博文館	5.30.		21, 53, 281, 335, 375, 631
403A	日本上古刀劍附圖（其一・ 二）〔口繪〕	史学誌 <sup>*36</sup> 21—8	8.10.		386, 515, 562
403B	高橋健自 日本上古の刀劍に就きて （明治四十三年五月二十八 日本會例會講演）〔論説〕	同上			386, 515, 518, 522, 562
404	八木契三郎 考古精説	単 嵩山房	10.5.		
a	埴輪總説				45, 75, 88, 111, 151, 184, 201, 276, 517
b	古瓦の研究				59, 583
405A	下總國千葉寺發掘燈籠〔口 繪〕	考古誌 <sup>*36</sup> 1—2	10.15.		27
405B	和田千吉 下總國千葉寺發掘の燈籠に 就て〔雜録〕	同上			27
406	大野雲外 土偶の形式分類に就て〔論 報〕	東人誌26—296	11.20.		105
407	柳田國男 十三塚〔論説〕	考古誌1—4	12.15.		283, 349, 541, 552
408A	・ <sup>1</sup> 埴面土偶圖（第一・二）〈目 1 石器時代入ル, 2 ナ シ〉〔挿図〕	東人誌26—297	12.20.		33, 146, 375

408B	大野雲外	黥面土偶に就て〔雑録〕	同 上		33, 146, 375 □文396
409	大野<雲外>	机上の友(一)〔雑報〕	同 上		344
<b>明治44 (1911) 年</b>					
410A	<木川半之丞>	下總國香取郡豊浦村發見埴輪土偶<目 ナシ>〔挿図〕	東人誌26—298	1. 20.	332
410B	大野<雲外>	下總香取郡豊浦村發見の埴輪土偶(口繪説明)<目 ナシ>	同 上		332
411	大野<雲外>	机上の友(二) 石器時代の動物〔雑報〕	同 上		281, 375
412	<柴田常恵>	上總市原郡市原村發見の石器時代遺物〔雑報〕	同 上		436
413	大野雲外	有髻土偶に就て〔雑録〕	人類誌27—1	*37 4. 30. <10カ>	219, 375
414	千葉町 <起草 白鳥 健>	千葉誌	単 千葉町	5. 15.	2, 3
415	大賀雄次郎 <私立香取郡 教育会長>	香取郡名勝案内	単	5.	303
416A	松村 瞭	上總國市原郡市原村貝塚, 上總國市原郡市原村貝塚の 断面〔口繪〕	人類誌27—4	7. 10.	436
416B	柴田<常恵>	上總國市原郡市原村貝塚 〔雑報〕	同 上		436
417A		古墳發見の鐙 其三〔口繪〕	同 上		148
417B		古墳發見の鐙(其三)〔雑報〕	同 上		148
418		上總國飯野發掘の金銅丸玉 〔彙報〕	考古誌 1—11	7. 15.	556
419	高橋健自	鏡と劔と玉 第二篇 劔	単 富山房	7. 23.	386, 515, 518, 522, 562, 627 □文403
420A		下總國海上郡足洗村發見の 奇形石器〔口繪〕	人類誌27—5	8. 10.	379
420B	柴田<常恵>	下總國海上郡足洗村發見の 奇形石器〔雑報〕 <以下の8人の説を紹介>	同 上		379
a	<大野雲外>	<偽物, 石器時代遺物の 特徴なし>			
b	<坪井正五郎>	<古墳関係品>			
c	<松村 瞭>	<日本人の作, 石器時代 遺物に非ず>			
d	<鳥居龍藏>	<支那方面に関係あり>			
e	<石田收藏>	<青竜刀形石器の例もあ り, 石器時代の遺物>			



f	《八木奘三郎》	〈石器時代遺物〉				
g	《安藤正樂》	〈石器時代遺物とするも可、印度式とも云うか〉				
h	《江見水蔭》	〈石斧の一種か〉				
421A		古墳發見の罈 其四〔口繪〕	同	上		190
421B	柴田〈常惠〉	古墳發見の罈(其四)〔雜報〕	同	上		190
422		下總國香取郡多古町の古墳 〈最近新聞記事 時事新報 7.8.記事〉〔雜報〕	同	上		351
423		諸陵寮の千葉縣下陵墓調査 〈最新新聞記事 新総房 6.27.記事〉〔雜報〕	同	上		242, 402, 558
424A		下總國海上郡余山貝塚發見 土偶〈目 の入ル〉〔口繪〕	人類誌27—6	9.10.		375
424B		下總余山貝塚發見の土偶 (口繪説明)〔雜報〕	同	上		375
425	柴田〈常惠〉	下總立木貝塚の貝輪包含状態 (口繪説明)〔雜報〕	同	上		375
426	大野雲外	埴輪土偶顔面の <sup>アタ</sup> 葺取りに就 て〈目 ルピナシ〉〔雜録〕	同	上		246
427A	木川半之丞	下總海上郡余山貝塚發見土 器〔口繪〕	人類誌27—7	10.10.		375
427B		下總海上郡余山貝塚發見土 器〔雜報〕	同	上		375
428		地方雜俎〔千葉〕 貞元親 王の墳墓〈時事9.30.記事〉 〔彙報〕	歴地理18—5	11.1.		536
429	《西川勝三郎》	古墳發掘の銅鏡と蜻蛉玉 〈東博出陳〉〔彙報〕	考古誌2—3	11.5.		562, 578
430A		下總印旛郡江原 <sup>1</sup> 貝塚發見土 偶〈目 1臺, 2の入ル〉 〔口繪〕	人類誌27—9	12.20.		219
430B		下總印旛郡江原臺發見の土 偶(口繪説明)〔雜報〕	同	上		219
431	大野雲外	先住民製作の土器紋様の分 子に就て〔論報〕	同	上		66, 212
432	石田收藏	最近一年間事業報告(承前) 〔論報〕	同	上		332, 436
明治45 (1912) 年						
433	和田千吉	和鏡と經塚〈香取秀真編 『古鏡圖録』所収〉	単 東京鑄金 会出版部	1.15.		312
434		歴史地理雜俎 護良親王妃 の墳墓〈時事1.27・28.記 事〉〔彙報〕	歴地理19—3	3.1.		439

千葉県考古学史資料目録稿

435		歴史地理雑俎 弘文天皇の御陵と傳へられたる古墳〈時事2. 1. 記事〉【兼報】	同 上		538
436A	木川半之丞	下總國東葛飾郡我孫子町子ノ神古墳, 下總國東葛飾郡我孫子町子ノ神古墳發見埴輪土偶【口絵】	人類誌28-3	3. 10.	159
436B	柴田常恵	下總國我孫子町子ノ神の古墳【論報】	同 上		159, 551
437	考古學會〈編〉	日本考古資料寫真集	単 考古学会	3. 13.	4, 33, 34, 52, 105, 309, 375, 436, 515, 516, 558
438A		下總國海上郡余山貝塚發見の土器, 下總國海上郡余山貝塚發見の滑車形土製品【口絵】	人類誌28-4	4. 10.	375
438B		下總余山貝塚發見の土器, 下總余山貝塚發見の滑車形土製品【雜報】	同 上		375
439	〈柴田常恵〉	下總國我孫子町子ノ神の古墳〈第373例会講演〉【記事】	同 上		159 ⇨文436
440		下總國海上郡余山貝塚發見の土器【口絵】	人類誌28-5	5. 10.	武蔵権現台貝塚の誤り

大正元(1912)年

441	野村藤一郎	成田町誌	写	9. 4.	236, 237, 239, 241
442	〈高島唯峯〉	高島唯峯氏蒐集品展覽會【兼報】	考古誌3-3	11. 5.	375, 631
443		歴史地理雑俎 古墳發掘〈時事11. 5. 記事〉【兼報】	歴地理20-6	12. 1.	51

## IV 収録雑誌類一覧

- 1 千葉新聞輯録  
千葉町(千葉) 開智社  
明治7.7.10. 第1号
- 2 學藝志林  
東京 東京大学法理文学部  
明治10.8. 第1冊
- 3 好古雜誌  
東京 好古社  
明治14.7.27. 初篇第1号
- 4 成田雜誌  
成田村(千葉) 友善社  
明治15.3.1. 第1号
- 5 理學協會雜誌  
東京 理学協会事務所  
明治16.2. 第1卷
- 6 人類學會報告  
東京 人類学会  
明治19.2.10. 第1号  
以後「東京人類學會報告」と改題。号繼承
- 7 東京人類學會報告  
東京 東京人類学会  
「人類學會報告」の改題  
明治19.6.25. 第1卷第5号  
以後「東京人類學會雜誌」と改題。卷号繼承
- 8 東京地學協會報告  
東京 東京地学協会  
明治13. <目 第1年会  
記事>
- 9 大八洲學會雜誌  
東京 大八洲学会仮事務所  
明治19.7.10. 卷之1
- 10 東京人類學會雜誌  
東京 東京人類学会  
「東京人類學會報告」の改題  
明治20.8. 第2卷第18号
- 以後「人類學雜誌」と改題。卷繼承
- 11 如蘭社話  
東京 如蘭社事務所  
明治20.9. 卷1
- 12 東洋學藝雜誌  
東京 東洋学芸社  
明治14.10.10. 第1号
- 13 史海  
東京 經濟雜誌社  
明治24.8.21. 第1卷
- 14 史料通信叢誌 <巻頭 協會入ル>  
東京 史料通信協会  
明治26.10.1. 第1編前
- 15 好古叢誌  
東京 好古社事務所  
明治25.1.31. 初編<sup>1.2</sup>卷1 <1  
ナシ 総目ニヨ  
リ補, 2 表ハ  
第>
- 16 風俗畫報  
東京 東陽堂  
明治22.2.10. 第1号
- 17 成田志林  
成田町(千葉) 成田英漢義塾  
明治27.11.3. 第1号
- 18 太陽  
東京 博文館  
明治28.1.5. 第1卷第1号
- 19 史海近事 <全7巻>  
成田町(千葉)  
<初出記事> 明治30.5.21.
- 20 考古學會雜誌  
東京 考古学会仮事務所  
明治29.12.15. (第1編)第1号  
<目・巻頭 ナ  
シ>

- 以後「考古」と改題
- 21 集古會誌  
東京 集古会  
明治29.11.  
以後「集古會記事」と改題
- 22 密嚴教法  
東京 振教会  
明治22.7.12. 第1号
- 23 史學界  
東京 富山房雜誌部  
明治32.2.26. 第1卷第1号  
〈目・巻頭 編〉
- 24 歴史地理  
東京 日本歴史地理研究会  
明治32.10.5. 第1卷第1号
- 25 考古  
東京 考古学会  
「考古學會雜誌」の改題  
明治33.4.23. 第1編第1号  
以後「考古界」と改題
- 26 好古類纂  
東京 好古社事務所  
明治33.9.28. 第1編第1集  
〈ナシ 総目ニ  
ヨリ補〉
- 27 集古會記事  
東京 集古会  
「集古會誌」の改題  
明治33.12.30.  
以後「集古會誌」と改題
- 28 考古界  
東京 考古学会  
「考古」の改題  
明治34.6.23. 第1篇第1号  
以後「考古學雜誌」と改題
- 29 古蹟  
東京 帝国古蹟取調会  
明治36.2.10. 第2卷第1号
- 30 [成田中學校] 校友會雜誌  
成田町(千葉) 千葉県私立成田中学校  
校友会  
明治37.1.12. 第1号
- 31 集古會誌  
東京 集古会  
「集古會記事」の改題  
明治36.3.13. 卷之1
- 32 東亞の光  
東京 富山房  
明治39.5.1. 第1卷第1号
- 33 人性  
東京 裳華房  
明治38.4.10. 第1卷第1号
- 34 國學院雜誌  
東京 国学院  
明治27.11.25.  
〈印刷〉 第1〈13冊目は  
第2卷第1〉
- 35 史學雜誌  
東京 史学会  
明治25.12.15. 第37号
- 36 考古學雜誌  
東京 考古学会  
「考古界」の改題  
明治43.9.25. 第1卷第1号
- 37 人類學雜誌  
東京 東京人類学会  
「東京人類學會雜誌」の改題  
明治44.4.30. 第27卷第1号  
〈巻頭 4.10.〉 〈通編第301号〉

## V 著者・被記者別文献索引

- 浅井郁太郎 <25>, 28  
 朝野文三郎 <233>→(天保噪士)  
 足立文太郎 125, 324, 342  
 阿部貞 9  
 阿部正功 <65>, <70>, <73>, 86→(八木)  
 安藤正樂 <420 B g>→(柴田)  
 石田收藏 335c·f, 353Ba, <420Be>→(柴田), 432  
 磯部武者五郎 47  
 板倉永助 <247>  
 一土偶人 272  
 伊藤富三郎 <214>  
 井上喜久次 <95>, <96>, <102>  
 井上毅 26  
 井野邊茂雄 364  
 今西龍 353 B c  
 岩井重増 219  
 員外生 258, <267b>  
 上田英吉 <32>, 38, 41  
 F. I. 346  
 江見忠功 265→(中村), 267a, <306>, 348, 368 B, 378, <397c>, 402, <420 B h>→(柴田)  
 大賀雄次郎 415  
 大塚則明 248  
 大野市平 <320>  
 大野延太郎 <77>→(山崎), <82>→(八木), 112→(鳥居), 113→(鳥居), 126, 129→(下村), 130, 156→(沼田), <159>→(坪井), 161, 174→(鳥井), <177>, 180, 182, 183, <185>, 189, <191>, 196, 206, <207c>, 208, 217, 227, <235>→(八木), 244→(柴田), 266, 278, 285, 293, 313, 334< A >·B, 335e, 339, 350 A·B, 352, 253 B b, 360, 374, 379, 380, 406, 408B, 409, 410 B, 411, 413, <420 B a>→(柴田), 426, 431  
 大矢透 35→(坪井), 36  
 岡田毅三郎 88, 99  
 岡部精一 <107>, 108  
 笠原國助 48→(若林)  
 奥村殘石庵 273→(文屋)  
 小澤治郎左衛門 50  
 柏木貨一郎 79  
 加藤知道 <19>  
 加藤直種 111  
 金田檀太郎 <31>, 34  
 加部巖夫 10  
 畫報生 338  
 川角寅吉 105, 256→(栗原)(汀家)  
 木川半之丞 <410 A>, 427 A, 436 A  
 菊池松太郎 <71>  
 喜田貞吉 192, 240, 387(幼々子)  
 木村政五郎 20  
 汲古老人 132, <133>  
 清野謙次 267c, 277  
 熊田宗次郎 371(葦城)  
 栗岩英治 349→(藤浪)(水滸)  
 栗原保二郎 256→(川角)(溪准)  
 黒木安雄 <23>, 24, 29  
 桑野禮治 169c  
 桂庭生 317  
 考古學會 437  
 好古社出版部 332  
 小金井良精 <52>, 56, 280  
 國分生 241 B  
 小杉樞邨 59, 153, 201, <401>  
 小林與三郎 181→(沼田)  
 吾老氏 194  
 齋藤夏之助 362(東灣)  
 佐藤傳藏 128, 144  
 澤邊顯 11  
 柴田常惠 244→(大野), 302 B c, 333, 335d, 384 B, <394>→(坪井), <412>, 416 B, 420 B→(大野·坪井·松村·鳥居·石田·八木·安藤·江見), 421 B, 425, 436 B, <439>  
 下村三四吉 80→(八木), 83, 91, 92→(八木), 97→(八木), 103→(八木), 106→(八木), 129→(大野)  
 白井光太郎 18, 30(M. S.)

- 白鳥 健 <414>→(千葉町)
- 神保 小虎 <17>, 21, 27
- 水 鳥 336
- 鈴木 審三 <397f>
- 鈴木 成章 218
- 清月 山人 289
- 清宮 秀堅 5
- 關 保之助 <344>, <397e>
- 千里 舎 239
- 染谷 大太郎 <146a・c・d>, <169a・b・d・e>, <172 B>→(坪井), <175>, <178>, <207a・d・f>, <224>, <229>
- 高島 多米次 (唯峯) <299>, <370>→(わた・水谷) 383, 385, <397b>, <442>
- 高橋 健自 337→(和田), 343, 361B, <363e>, 365, 403B, 419
- 高橋 二三雄 242, 243, 259
- 武井 友次郎 295
- 田代 善吉 236
- 田中 正太郎 <134>→(東京帝大・林)
- 田中 茂穂 284
- 田中 泰鷹 <49>→(月輪)
- 田中 芳男 391
- 谷口 守雄 118
- 千葉 町 414→(白鳥)
- 月輪 眞成 <49>→(田中)
- 辻 善之助 160, 179
- 續 簡 14
- 坪井 正五郎 16, 22, <35>→(大矢), 37, 40, 42, 45, 46, <76>, 78, 85, 87, 89, 101, 110, 114, 115, 117, 119, 121, 122, 124, 135, 137, 140, 155, 159→(大野), 163, 172 A →(染谷), 173, 186, 202, <207e>, 216, 238, 245, 276, 281, 302 B a・f, 304, 308, <315>, 318, 323, 325, 326, 335g, 351, 353 B d, 358 B, 366, 367, 372, 386, 388, 392, <393>, <394>→(柴田), <420 B b>→(柴田)
- 坪井 誠太郎 302 B d
- 出口 米吉 230
- 天保 噪士 233→(朝野)
- 東京帝國大學 (理科學人類學室, 帝國大學) <53>, 134→(田中・林), 149→(野中), 187→(八木・藤田), 212→(野中), <220>, <397a>
- 東京帝室博物館 <356b>, <363a・c>
- 銅 駝 坊 <397g>
- 徳川 頼倫 279
- 豊田 長敦 1
- 鳥居 龍藏 (R. T.) <67>, 69, 109, 112→(大野), 113→(大野), 164, 282, <420 B d>→(柴田)
- 鳥井 174→(大野)
- 永倉 茂 215
- 中澤 澄男 158, 331→(八木)
- 中田 憲信 261
- 中村 士徳 265→(江見), 298→(八木)
- 中村 不能齋 8
- 西川 勝三郎 <355>, <356a>, <363d>, <429>
- 西川 勝之助 <373>
- 沼田 頼輔 150, 152, 154, 156→(大野), 181→(小林)
- 根岸 武香 222→(山中), 231
- 野中 完一 <143>, <145>, <149>→(東京帝大), 170, <212>→(東京帝大), <221>, <257>, <260>, 286
- 野村 藤一郎 441
- 花見 青眠 (青眠) 328
- 林 五策 210, 211
- 林 天然 296
- 林 若吉 <123>, 127→(八木), 134→(東京帝大・田中)
- 繁 鶴子 253
- 廣田 彬 13, 15
- 藤浪 孫次郎 (紫園) 349→(栗岩)
- 布施 千造 203
- 文屋 菱花 273→(奥村)
- 古谷 清 297, 300, 305, 311, 312
- 本郷 迂人 84
- 蒔田 鎗次郎 <146b>, 187→(東京帝大・八木)
- 松浦 弘 3
- 松村 瞭 302 B b, 335a, 369, 389, 416 A, <420 B c>→(柴田)
- 三木 貞一郎 6, 7, 12
- 水島 善吉 223, 226
- 水谷 乙次郎 (幻花) 262, 268, 269, 275, 340, 341, <370>→(わた・高島), <397d>
- 三宅 米吉 64, 68
- 三好 勇 302 B e
- 邨岡 良弼 (貴卿・樸齋) 51, 54, 81, 131, 250

- 八木 奘三郎 <72>, 74, 80→(下村), 82→(<大野>), 86→(阿部), <90>, 92→(下村), 97→(下村), 98, 103→(下村), 106→(下村), 120, 127→(林), 136, 139, 147, 151, 162, 165, 166, 176 A・B, 184, 187→(東京帝大・<藤田>), 190, 209, 234, 235→(<大野>), 254, 270, 298→(中村), 327, 331→(中澤), 347, 404, <420 B f>→(柴田)
- 安川 惟禮 4  
(柳溪)
- 安川 辰藏 319
- 柳田 國男 407
- 山崎 春凌 251
- 山崎 直方 75, 77→(<大野>), 283, 335 b
- 山田 愨 198  
(角次郎)
- 山中 笑 <141>, <207b>, 222→(根岸), 225, 228  
(共古)
- 吉田 東伍 252
- 吉田 文俊 246, 263, 264, 271, 287, 292
- 吉橋 泰眠 2
- 若林 勝邦 33, 39, <43>, 44, <48>→(<笠原>), 55, 57, 58, 60, <61>, 62, 63, 66, 142, 148, 157, 167, 171, 232
- わ た 370→(<高島・水谷>)
- 和田 千吉 195, 237, 274, 288, <290>, <291>, 294, <337>→(高橋), <345>, <354>, <363b>, 381, 382, 390, 405 B, 433
- 和田 聽泉 321  
(聽泉生)
- 渡邊 菊次郎 307  
(斗吟)

## VI 文献対照遺跡・事項目録

番号	遺跡・事項	遺構遺物等	現在の遺跡名	所在地	文献番号
しも うえのくに 下 総 国					
ちば 郡 千葉郡					
ちば 市 千葉市					
1	高德寺東貝塚	土器, 獣骨		( <sup>*</sup> は旧上総国山武郡) いのほな 亥鼻町字東・西亥鼻	149, 212
2	下市場不動祠	砥石	亥鼻貝塚	亥鼻町亥鼻公園	143, 149, 212, 266, 269, 300, 414
3	七ツ塚		七ツ塚古墳群	亥鼻町: 千葉大学 医学部構内	414
4	平山村貝塚・小金沢村貝塚	土偶, 骨器	六通貝塚	おおかんざわ ろくつう 大金沢町字六通	10, 18, 58, 151, 159, 217, 312, 437
5	大金沢村六通	石棒	六通貝塚	大金沢町字六通	10, 128, 151
6	六通村	石器, 土器		大金沢町字六通	297, 300, 311, 312
7	大金沢貝塚			大金沢町	134, 149, 349
8	坂尾村押元貝塚 ・上坂尾村貝塚	人骨	押元貝塚	おおみや おおもと 大宮町字押元	38, 53, 56, 63, 87, 89, 101, 103, 134, 135, 149, 150, 151, 173, 212, 331, 349
9	生実学校古墳	漢鏡, 曲玉	柏崎台古墳群	おのみ かしわざきだい 生実町字 柏崎台	382
10	貝殻べた貝塚		台門貝塚	かいづか かいがらべた 貝塚町字貝殻辺田	38, 44, 134, 149, 212, 349
11	草刈場貝塚	土器, 石斧	草刈場北貝塚	くかりぼ 貝塚町字草刈場	38, 134, 149, 212, 349
12	畠中貝塚		荒屋敷貝塚	はたがなか 貝塚町字畑ヶ中	38
13	はまべた貝塚			はなべた 貝塚町字花辺田	38
14	台門貝塚			貝塚町	38
15	あらひき貝塚			貝塚町	38
16	貝塚村貝塚		貝塚町貝塚群	貝塚町	33, 38, 63, 66, 85, 154, 172 B, 252
17	貝殻畑貝塚		積橋貝塚	こてはし くきはら 積橋町字草原	38, 63, 134, 149, 169c, 212, 349
18	鳥喰貝塚		取込・東貝塚	こなかだい とりばみ 小仲台町字取込	38, 134, 149, 212, 349
19	東台貝塚		東ノ上貝塚	ひがしん 小仲台町字 東ノ上	38, 134, 149, 212, 349
20	新田山貝塚			きかづき 坂月町	38, 63, 134, 149, 212, 349
21	屋敷貝塚・加曾利貝塚		加曾利貝塚	まくらぎ きようがんだい 桜木町字 京願台	38, 63, 96, 134, 149, 212, 349, 353 A・B a・b・c・d, 357, 367, 376, 378f, 388, 392, 402
22	寒川神社床下	石棺		さむがわ 寒川町 1 丁目	248, 349
23	新町	内耳鍋		しんまち 新町	41, 46



24	長者山貝塚	土器, 石棒	園生貝塚	そんのう ちやうじや 園生町字長者	38, 63, 134, 149, 212, 330, 335 a・b・c・d・e・f・g, 336, 348d, 349
25	千葉家旧墳墓	蔵骨器	西街道古墳	にしかいどう 園生町字西街道	319, 335d
26	高田	土器	高田町	たかだ 高田町	149, 212
27	千葉寺	釣灯笼	千葉寺	ちばでら もんぜん 千葉寺町字門前	399, 405 A・B
28	経塚古墳群		内アラク古墳群	*とけ おきようづか 土気町字御経塚	50, 252, 349
29	つきぬき貝塚		月ノ木貝塚	に と な つきのき 仁戸名町字月ノ木	38, 134, 149, 212, 349
30	へたのだい貝塚		へたの台貝塚	へたのだい 仁戸名町字辺田台	38, 134, 149, 212, 349, 397b
31	仁戸名村貝塚			仁戸名町	63, 139, 151, 331
32	石上貝塚			ひがしてらやま いしがみ 東寺山町字石神	38, 63, 134, 149, 212, 349
33	平山村貝塚・小金沢村貝塚	土偶	長谷部貝塚	ひらやま しゆりだい 平山町字主理台・ 長谷部	10, 38, 58, 63, 64, 117, 408 A・ B, 437
34	平山村貝塚・小金沢村貝塚	土偶, 骨器	台畑貝塚	だいばた 平山町字台畑	10, 64, 114, 117, 217, 312, 437
35	築地台貝塚	土偶, 石斧, 石棒	築地台貝塚	ひけちよう 平山町字向町	38, 63, 134, 149, 212, 349
36	二十四里塚		二十五里北貝塚	みなもと ちゆうへいじ 源町字二十五里	38, 63, 134, 149, 212, 349
37	辺田	石斧	辺田	みやこ へんだ 都町: 辺田	96, 134, 149, 212, 349
38	宮野木城山貝塚			みやのぎ ごうのうち 宮野木町字郷ノ内	38, 63, 134, 149, 212, 349
39	貝殻塚貝塚	土器, 石斧, 石棒, 人骨	矢作貝塚	やはぎ 矢作町字貝殻	38, 63, 96, 125, 134, 139, 140, 149, 151, 172 B, 212, 312, 331, 349
40	椎名村大字六通 字小金沢	土器, 石器	4, 33か		149, 212
41	小金沢村字六通 貝塚		4 か		38, 63, 134, 212, 349, 397e
42	平山村貝塚				64, 68, 297, 300, 305, 311, 312
43	小金沢貝塚		大金沢の誤か		55, 57
44	都村貝塚				349
45	椎名村古墳	人物埴輪			165, 166, 234a, 404a
46	千葉貝塚				39, 40, 43, 75, 77, 96, 103, 134, 331
47	千葉氏古墳				204
48	千葉近傍遺跡				275
49	千葉近傍貝塚				19
<b>八千代市</b>				(*は旧印旛郡)	
50	芝山古墳	石棺, 刀剣		かのしばやま *神野字芝山	205, 267c
51	麦丸古墳	石棺, 刀剣		むぎまる 麦丸	443
<b>千葉郡内</b>					
52	千葉郡貝塚	石器			437

ひがしかつしか  
東葛飾郡市

いちかわ  
市川市

53	柏井村貝塚・姥山貝塚		姥山貝塚	かしわい 柏井町 1 丁目	74, 82, 103, 121, 130, 134, 149, 172 B, 211, 212, 348c, 349, 378 c, 402
54	姥山	古墳土器		柏井町	378c
55	国分貝塚・堀之内貝塚		堀之内貝塚	きたこくぶん 北国分町	211, 279, 280, 281, 282, 283, 284, 285, 286, 287, 299, 331, 340, 348b-f, 368 A・B, 370, 378i-l, 385
56	国府跡			ここのだい 国府台 1 丁目	160, 179, 296
57	国府台古墳・総寧寺の遺物	石棺, 埴輪, 土器, 鏝	明戸古墳	国府台 3 丁目	187, 248, 250, 289, 349, 401d
58	国府台	須恵器		国府台	33
59	下総国分寺跡	礎石, 瓦	下総国分僧寺跡	こくぶん 国分 3 丁目	54, 160, 179, 214, 234b, 239, 250, 252, 253, 337, 349, 354, 363e, 404b
60	国分寺昔堂	瓦	下総国分尼寺跡	国分 4 丁目	239
61	下貝塚村貝塚 (北ハ誤)		下貝塚	しもかいづか 下貝塚町	63, 79, 134, 149, 212, 349
62	貝殻塚		もろ 諸貝塚	すわだ 須和田 2 丁目	27
63	太鼓塚		太鼓塚古墳	須和田 2 丁目	251
64	曾谷貝塚		イゴ塚遺跡	もや 曾谷 2 丁目	27, 149, 212, 349
65	曾谷村貝塚		曾谷貝塚	曾谷 2 丁目	74, 75, 77, 103, 211
66	曾谷村貝塚	土偶, 貝輪, 石器	64・65その他を含むか	曾谷	16, 22, 33, 40, 45, 49, 63, 79, 85, 87, 115, 134, 149, 173, 212, 252, 276, 349, 431
67	曾谷村貝塚		三中校庭か	曾谷	150, 152
68	中山	土器, 石器		なかやま 中山	149, 212
69	奉免村貝塚			ほうめん 奉免町	86, 134, 149, 211, 212, 349
70	北方	石斧		北方 (きたかた 1 ～ 3 丁目, ぼっけ 4 丁目)	134, 149, 212, 349
71	善照寺の遺物	五鈴杏葉		みなと 湊	111, 349
72	宮久保	石斧		みやくぼ 宮久保	134, 149, 212, 349
73	藪不知古墳			やぶた 八幡 1 丁目	248, 252, 349
74	葛飾八幡宮経塚	経筒, 鏡		八幡 4 丁目	365
75	八幡	人物埴輪		八幡	165, 234a, 404a
76	若宮	縄文土器		わかみや 若宮	208
77	国分寺貝塚			55を含む	63, 79, 121, 130, 134, 149, 164, 212, 266, 348a, 349
78	鴻台近傍遺跡				141, 155
79	駒形社	石棒			39, 134, 149, 212, 349

				(*は旧千葉郡)	
ふなばし 船橋市					
80	後貝塚		うしろ 後貝塚	あきひ しまたま 旭町字嶋前	63, 74, 82, 103, 119, 134, 149, 212, 349
81	古作貝塚	土器, 石斧, 石棒, 獣骨	古作貝塚	こさく 古作町	16, 22, 45, 48, 63, 65, 74, 82, 85, 98, 103, 122, 134, 137, 139, 149, 151, 164, 172 B, 173, 208, 211, 212, 266, 270, 276, 331, 349, 378c-j, 392, 397c-g
82	滝台村貝塚		滝台貝塚	にのみや たきだい 二宮町字滝台	63, 134, 149, 212, 349
83	前貝塚村貝塚		前貝塚・堀込貝塚	まえかいづか 前貝塚町字上屋・堀込	16, 63, 74, 82, 134, 149, 212, 276, 349
84	峯台古墳	埴輪	峯台古墳	みやもと みねだい 宮本町字峯台	187, 349
まつど 松戸市					
85	岩瀬横穴			いわせ 岩瀬	193a, 267c
86	栗ヶ沢	石棒		くりがさわ 栗ヶ沢	172 B, 397
87	栗山	須恵器	天神山	くりやま てんじんやま 栗山字天神山	33
88	栗山村古墳	馬・人物埴輪, 須恵器	栗山古墳群	栗山字立出・佐原	20, 136, 165, 190, 216, 234a, 252, 349, 404a
89	古賀崎古墳			こがさき 古ヶ崎	187, 349
90	馬橋台貝塚		南道台貝塚	はちがさき みなみちあい 八ヶ崎字南道台	88, 212
91	八ヶ崎貝塚			八ヶ崎	397g
92	八ヶ崎	木葉形石器		八ヶ崎	172 B, 212
93	二ツ木	石斧		ふたつぎ 二ツ木	172 B, 212
94	中学校裏	土器			349
95	馬橋村貝塚		90か		134, 149, 349
96	松戸町	糸かけ石			247
のだ 野田市					
97	岩名村貝塚		岩名貝塚	いわな 岩名	62, 63, 79, 134, 149, 212, 268, 349
98	江戸尻貝塚			かみはなわ 上花輪	86, 134, 149, 212, 349
99	木野崎	土器, 石器		きのざき 木野崎	263
100	清水村貝塚		野田貝塚・清水貝塚	しみず かいづか 清水字貝塚	62, 63, 79, 134, 149, 212, 268, 349, 397d
101	中里貝塚		庄九ヶ谷貝塚	なかざら しょうくがや 中里字庄九ヶ谷	349
102	天王原	磨製石斧		中里	263
103	八幡古墳	埴輪		なかねしんてい はちまん 中根新田字八幡	349
104	中野台村貝塚	石棒	中野台貝塚	なかのだい 中野台	47, 63, 79, 134, 149, 212, 349
105	金野井村貝塚・満福寺貝塚		東金野井貝塚	ひがしかなのい 東金野井	62, 63, 79, 134, 149, 212, 217, 254, 263, 266, 349, 406, 437
106	東金野井古墳				264, 349
107	船形	石斧		ふなかた 船形	263
108	三ツ堀	磨製石斧		みつぼり 三ツ堀	263

109	タメノ台古墳		山崎字山崎新田	349
110	溜台貝塚	山崎貝塚	山崎	62, 63, 70, 71, 79, 87, 89, 101, 134, 149, 212, 349
かしわ 柏市			( * は旧南相馬郡)	
111	大室古墳	人物埴輪	大室	187, 216, 234a, 349, 404a
112	下ネゴ貝塚	土器, 石鏃	柏字寺谷	80, 83, 88, 134, 149, 212, 349
113	柏村の石神	石棒	柏	230
114	柏	石棒	柏	172 B
115	柏古墳		柏	187, 349
116	宿蓮寺	石棒	宿蓮寺字木戸ノ内	88, 134, 149, 172 B, 212, 349
117	宿蓮寺古墳		宿蓮寺	187, 349
118	高田古墳		高田	187, 349
119	上ネゴ貝塚	土器, 石鏃, 石斧	上根郷貝塚 戸張字上根郷	80, 83, 88, 134, 146b, 149, 212, 349
120	戸張	石斧	戸張	212
121	戸張古墳		戸張	187, 349
122	豊四季	石棒, 石斧	豊四季	172 B, 212
123	豊四季古墳		豊四季	187, 349
124	根戸古墳		* 根戸	187, 349
125	花ノ井古墳		塚原古墳 花野井字塩辛	187, 349
126	花野井貝塚	石棒, 石斧	寺前貝塚 花野井字寺前	263
127	花野井	磨製石斧	花野井	172 B
128	古谷坪貝塚		城山貝塚 * 布施字古谷・堂ノ下	88, 134, 149, 212, 349
129	東海寺の遺物	埴輪	弁天古墳か * 布施字弁財天	401a・b
130	布施村貝塚		山ノ田台貝塚 * 布施字山田台	88
131	布施	打製石斧	* 布施	172 B
132	布施古墳		* 布施	187, 349
133	松ヶ崎古墳		松ヶ崎	187, 349
ながれ やま 流山市				
134	市野谷	石皿	市野谷	172 B, 212
135	市野谷古墳		市野谷	187, 349
136	上貝塚	土器, 石剣	上貝塚	134, 149, 182a, 212, 349
137	上新宿村貝塚	土器, 石斧	上新宿貝塚 上新宿字向宿	73, 86, 134, 149, 207f, 208, 212, 349
138	柴崎古墳		芝崎	187
139	野々下貝塚	土器, 石器	野々下	149, 212
140	野々下古墳		野々下	187, 349
141	流山貝塚・鱒ヶ崎貝塚		鱒ヶ崎字塚の腰台	63, 79, 134, 149, 212, 349
142	鱒ヶ崎	土器, 石斧	鱒ヶ崎	172 B
143	古間木古墳		古間木	187, 349

144	三輪ノ山貝塚	磨製石斧		三輪野山	169b, 172 B, 212
145	三輪神社遺物	曲玉		三輪野山	81
146	流山	土偶, 耳輪	141を含むか		368 A・B, 378i・j, 392, 408 A・B
147	八木村	石斧			207d

あびこ  
我孫子市 (旧南相馬郡)

148	南飯塚古墳	刀, 鐔, 玉		我孫子字南飯塚	417 A・B
149	停車場傍	土版, 石斧	170か	我孫子	212
150	我孫子土器塚	土版	149, 170か	我孫子	149, 163, 172 B, 217, 254, 266
151	我孫子古墳	人物埴輪		我孫子	187, 234a, 349, 404a
152	都部	磨製石斧		都部	134, 149, 172 B, 212, 349
153	岡保戸古墳			岡発戸	187, 349
154	久寺家			久寺家	134, 149, 212, 349
155	久寺家古墳			久寺家	187, 349
156	高野山	磨製石斧		高野山	172 B, 212
157	高野山古墳			高野山	187, 349
158	警察裏		あけだし 明田西	寿 1 丁目	378d
159	子ノ神古墳	人物埴輪	わのかみ 子ノ神古墳群	寿 2 丁目	436 A・B, 439
160	下ヶ戸	石斧		下ヶ戸	172 B, 212
161	柴崎貝塚	磨製石斧		柴崎	212
162	柴崎古墳			柴崎	187, 349
163	中里			中里	134, 149, 212
164	中里古墳			中里	187, 349
165	中峠	打製石斧		中峠	172 B
166	中峠古墳			中峠	187, 349
167	布佐台古墳			布佐字和田前	249
168	古戸	石棒	古戸貝塚	古戸	134, 149, 169a, 172 B, 212, 349, 397
169	古戸古墳			古戸	187, 349
170	大光寺内貝塚	土器, 石斧	大光寺貝塚	緑 2 丁目	149, 172 A, 212, 378d
171	我孫子貝塚				378e
172	湖北村古墳				99, 187, 349
173	湖北村	曲玉			169d
174	布佐村古墳				187

かまがや  
鎌ヶ谷市

175	中沢貝塚		中沢貝塚	中沢字貝柄山	74, 82, 134, 149, 212, 349
-----	------	--	------	--------	----------------------------

せきやど  
関宿町

176	内町篠台貝塚		内町貝塚	内町字旧香取前	62, 63, 79
177	宗英寺遺跡	石器		内町	246, 263

千葉県考古学史資料目録稿

178	岡田貝塚	石斧, 石鏃	岡田貝塚	おかだ なか うち 岡田字中ノ内	155, 263, 271
179	飯塚貝塚	土偶, 石器	飯塚貝塚	ま まが せ いいづか 木間ヶ瀬字飯塚	263, 271, 292, 304
180	貝殻山貝塚			こ ぶうち 古布内	271
181	実相寺の遺跡		東十一番	だいまち 台町：上町	246
182	西高野貝塚	石鏃, 石斧	西高野貝塚	にしごうや 西高野	263, 271
183	雲国寺裏貝塚		雲国寺貝塚	もとまち てんじんこうち 元町字天神耕地	62, 63, 79, 134, 149, 212, 349
184	関宿近在の古墳	人物埴輪			42, 165, 187, 216, 234a, 349, 404a
しやうなん 沼南町(旧南相馬郡)					
185	泉	土器, 石斧		いづみ 泉	169e, 172 B, 212
186	泉古墳			泉	187, 349
187	岩井貝塚	土器, 土偶, 石斧, 骨器	岩井貝塚	いわい おなかやま 岩井字於中山	144, 146d, 149, 169a・e, 172 A・B, 173, 181, 182c・d, 212, 266, 400 A・B
188	岩井古墳			岩井	187, 207a, 349
189	大井	土偶, 石斧	大井舟戸貝塚	おおい たけ こし 大井字竹ノ越	149, 172 B, 212
190	大井古墳	刀, 鐔, 玉		大井	169d, 172 B, 182c, 184, 186, 187, 207a, 227, 238, 266, 327, 347, 349, 421 A・B
191	大島田	石斧		おおしま た 大島田	212
192	大島田古墳			大島田	187, 349
193	片山貝塚	土器, 石斧		かたやま 片山	149, 172 B, 212
194	片山古墳			片山	187, 349
195	金山古墳		庚塚古墳か	かねやま かのえづか 金山字庚塚	187, 349
196	高柳古墳			たかなぎ 高柳	187, 349
197	塚崎古墳			つかさき 塚崎	187, 349
198	手賀	土器		てが 手賀	212
199	手賀古墳			手賀	187, 349
200	布瀬	石斧, 石棒		ふせ 布瀬	212
201	布瀬古墳	人物埴輪		布瀬	187, 216, 234a, 235, 244, 245, 293, 298, 310 A・B, 349, 404a
202	藤ヶ谷古墳			ふじが や 藤ヶ谷	187, 349
203	藤ヶ谷新田古墳			ふじが やしん でん 藤ヶ谷新田	187, 349
204	箕輪	土器, 石斧		みのわ どうぼり 箕輪字道堀	172 B, 212
205	箕輪古墳			箕輪	187, 349
206	柳戸貝塚	土器, 石斧		やなぎ 柳戸	149, 172 B, 212
207	柳戸古墳			柳戸	187, 349
208	若白毛	土器, 石器		わかしろが 若白毛	172 B, 212
209	若白毛古墳			若白毛	187, 349
210	鷺野谷古墳	埴輪	北ノ内古墳群	わしの や きた うち 鷺野谷字北ノ内	172 B, 187, 197, 199, 200, 349
211	広田原	石製模造品		わしの や ひろた はら 鷺野谷字広田原	146a, 172 B, 182e, 189, 237, 349
212	鷺野谷	土版, 石斧		鷺野谷	146c, 163, 169b, 172 B, 207a, 212, 254, 431

213	風早村	鉄鉢		207a
<p>いんば 印旛郡市</p>				
<p>きくら 佐倉市</p>				
214	口地点古墳		光勝寺瓢箪塚古墳	臼井字小笹台 215
215	臼井	磨製石斧		臼井 134, 149, 212, 349
216	人形塚古墳・イ 地点古墳			臼井 215, 262, 349
217	第4地点貝塚		遠部台	臼井字遠部台 215
218	第3古墳		八丁坂古墳	臼井田 215
219	江原新田・第1・ 2・3地点貝塚		曲輪ノ内	江原新田字曲輪の 内 103, 134, 149, 212, 215, 252, 262, 265, 270, 272, 331, 349, 378b, 391, 397c, 413, 430A・B
220	三里塚松山	鉄屑, 土器		お(う)ぶかい きんじゆうづか 生谷:三拾塚 267a・b
221	三十塚	古墳, 土器		生谷:三拾塚 51, 215, 250, 252
222	角来古墳・包含 地		駒形古墳・山王 台	かくらい こまがた きんのう 角来字駒形・山王 台 270
223	城			じょう 城 33
224	寺崎			てらざき 寺崎 212, 270
225	荻山村			はぎやましんでん 荻山新田 263
226	八木			やぎ 八木 96, 134, 149, 212, 349
227	志津村境貝塚			267b
<p>なりた 成田市</p>				
228	磯部	石器		いそべ 磯部 103, 134, 149, 212, 270, 349
229	上福田古墳	横穴式石室		かみよくだ いどご 上福田字井戸手 250, 252
230	上福田	石鏃, 石斧		かまなか 上福田字山中 263, 378e
231	北須賀古墳		北須賀古墳群	きたすか 北須賀 187, 349
232	針ヶ沢古墳	刀, 玉		こまいの はりがさわ 駒井野字張ヶ沢 213, 252, 267c, 363c
233	台方	磨製石斧		だいかた 台方 105, 134, 149, 212, 349
234	宝田	石鏃, 石錘		たからだ 宝田 263, 300
235	土屋古墳			つちや つちや 土屋字土屋 187, 349
236	殿台			とのだい 土屋:殿台 441
237	ガンガン松古墳		永興寺古墳	てらだい ほめ 寺台字保目 441
238	寺台古墳			寺台 187, 349
239	松原古墳		松原古墳	なりた まつばら 成田字松原 441
240	成田古墳			成田 187, 349
241	不動塚		不動塚跡	なる きしんでん 成木新田 11, 441
242	船塚(伝伊都許 利命墓)		手黒船塚古墳	ふなかた てぐら 船形字手黒 14, 51, 118, 248, 249, 250, 252, 349, 423

千葉県考古学史資料目録稿

243	宗吾塚	石棺, 人骨		船形	316, 317
244	松崎	磨製石斧		まんぎき 松崎	378e
245	八代古墳		八代台古墳群	やつしろ 八代	187, 349
246	山口村古墳		山口古墳群	やまぐち てんじんだい 山口字天神台	426
247	公津八十墓		公津古墳群		14, 215
248	長沼附近瓢塚				320
249	成田町附近	石棒			397f
よつかいどう <b>四街道市</b>					
250	亀崎	甕入の古銭		かめざき 亀崎	14
251	千代田村	石斧			207d
しすい <b>酒々井町</b>					
252	八木野	石斧		いじのしんでん 伊篠新田	320
やちまた <b>八街町</b>					
253	経塚			やちまた 八街	294
とみさと <b>富里町</b>					
254	日吉倉古墳		日吉倉古墳群	ひよしくら 日吉倉	378k
いんば <b>印旛村</b>					
255	岩戸貝塚	土器	石神台貝塚か	いわと 岩戸：船作	267a
256	岩戸	土器・石器		岩戸	172 B, 267b
257	戸塚貝塚		戸ノ内貝塚か	もろと 師戸：戸ノ内	212
258	吉高	石棒, 石斧		よしたか 吉高	105, 134, 149, 212, 349
259	吉高古墳			吉高	249
しろい <b>白井町</b>					
260	名内上谷ッ台	石製模造品		かわらごきどぼ 河原字字木戸場	172 B, 189, 349
261	平塚	石器		ひらつか 平塚	169b, 172 B
262	平塚古墳	鉄鍬		平塚	207a
いんざい <b>印西町</b>					
263	和泉新田	石棒, 石斧		いづみ 泉	172 B, 212
264	井の内	石棒		たけぶくろいび 竹袋字井の内	126, 230
265	郷の神	磨製石斧	五ノ神	竹袋字五ノ神台	263
266	天神台	石鍬, 石斧	天神台貝塚	竹袋字呑内	263, 267a
267	船尾	打製石斧		ふなび 船尾	212
268	石神	石棒, 石斧		べつしよ いしがみ 別所字石神	247, 263



269	別所村	石棒		別所	39, 349
270	別所	土器		別所	210
<b>もとの本 榎村</b>					
271	荒野村	打製石斧	荒野	こうや にし うち 荒野字西ノ内	263
<b>さかえ 栄 町</b>					
272	酒直古墳		竜角寺古墳群	さかなお りゆうかくじ 酒直, 竜角寺	187, 249, 349
273	中谷村	石棒	石神	なかや 中谷	126, 230
274	竜角寺古墳・塚 穴・岩屋	横穴式石室	岩屋古墳 (みそ 岩屋も含む)	いげした 竜角寺字池下	116, 187, 249, 255, 314, 349, 378e, 381
<b>印旛郡内</b>					
275	郡内出土	石棒			3, 39
276	郡内出土	鹿埴輪			404a
277	印旛沼村附近	埴瓮土器			227
278	小新田	紡錘車			169d, 170, 331
279	船崎山	磨製石斧			263
<b>かとり 香取郡市</b>					
<b>き わら 佐原市</b>					
280	王子社古墳	石棺		かとり おうじ 香取字王子台	198, 349
281	香取神宮境内 (外)貝塚	土器		香取	103, 134, 149, 212, 349, 378a・ j, 402, 411
282	香取古墳群			香取	349
283	仁井宿十三塚・ 古墳群			き わら に い じ ゅ く 佐原イ字仁井宿, にらうべ 新部	198, 252, 407
284	中学附近古墳		浅間山古墳	佐原イ字仁井宿	294
285	玉造			たまつくり 玉造	103, 134, 149, 212, 349
286	又見神社古墳	石室, 石棺		またみ 又見	5, 47, 198
287	谷中古墳	馬鐸		や な か つかこし 谷中字塚越	156, 187, 198, 349, 361 A・B
288	丁子			ちやうし 丁子	348e, 378g
289	鳥羽・観音	古墳群			294
290	津宮村近傍	土器			149, 212
<b>しも ふき 下総町</b>					
291	大和田砦古墳	石棺		おおわだ 大和田：要害	198
292	大日塚		大日山古墳	たか わかしやうじ 高字若庄司	192
293	高岡村	子持曲玉		たかおか 高岡	379, 386
294	名木砦古墳	石棺, 刀		なぎ じやうやま 名木字城山	198

295	姫塚		名木字姫宮 <sup>ひめみや</sup>	192, 233
296	公家塚 (伝藤原師賢墓)		名古屋字小帝 <sup>なごや こみかど</sup>	14, 94, 192, 198, 233, 240, 248, 249, 252, 349, 364, 371, 387
297	比丘尼塚		名古屋字十二代 <sup>じゅうにしう</sup>	198
298	小御門神社	名古屋貝塚	名古屋	47
299	小御門神社傍		名古屋	212
300	名古屋古墳群		名古屋	187, 349
301	栗山	ナイフ石器, 石製模造品	滑川字栗山 <sup>なめかわ くりやま</sup>	189, 196, 212, 237, 266, 278, 291, 294
302	滑川	埴輪, 須恵器	滑川	96
303	西大須賀横穴群, 耀窟神社横穴	須恵器, 刀, 馬具	西大須賀字谷津 <sup>にしおおすか やつ</sup>	14, 26, 37, 47, 97, 102, 158, 187, 198, 249, 252, 256, 270, 288, 290, 291, 294, 328, 345, 349, 415
304	滑川町大須賀	石製模造品	〈大菅又は西大須賀か〉 <sup>おおすげ</sup>	363b
305	仙元谷古墳			349
306	滑川町横穴			206, 349
<b>こうぎまき 神崎町</b>				
307	武田・大貫間の古墳群	大貫・新古墳群	大貫, 新 <sup>おおぬき しん</sup>	294
308	古原	古原貝塚	古原 <sup>こはら</sup>	397b
309	小松古墳	石枕	小松 <sup>こまつ</sup>	21, 162, 167, 187, 349, 363a, 437
310	小松古墳	鏡, 石製品	小松	148, 189
311	小松古墳	石棺	篠塚神社古墳	小松
312	小松村経塚	鏡	小松	433
313	八幡神社古墳	石棺, 金銅鞍	武田八幡古墳 <sup>たけだ</sup>	198
314	神崎古墳	石枕, 石製品		167, 171
315	米澤村	石剣		397b
<b>たいえい 大栄町</b>				
316	埴岩古墳	石棺	伊能字埴 <sup>いのう はなわ</sup>	198
317	吉岡古墳群	来光台古墳群	吉岡字来光台 <sup>きちおか らいこうだい</sup>	187, 349
<b>おみかわ 小見川町</b>				
318	阿玉台貝塚	阿玉台貝塚	阿玉台字千堂 <sup>あたまだい せんどう</sup>	62, 91, 92, 101, 103, 106, 110, 112, 122, 127, 129, 134, 149, 173, 212, 254, 258, 331, 348c, 349, 391
319	阿玉台古墳		阿玉台	187, 198, 349
320	一分目岩古墳	石棺	一之分目 <sup>いちのわけめ</sup>	198
321	岡飯田古塚	鳳凰古墳他	岡飯田字風王他 <sup>おかいいだ ふうおう</sup>	198

322	城山古墳 (伝粟飯原氏墓)	石室, 刀	城山古墳群	小見川字城山	198, 252, 348c
323	貝塚村貝塚		良文貝塚	貝塚字海内	62, 98, 103, 124, 127, 134, 142, 149, 151, 198, 212, 277, 349, 391
324	木内若傍貝塚		333か	木内: 清水	198
325	木之内村貝塚		木内神明貝塚	木内: 宮前	62, 103, 134, 149, 198, 212, 301, 348c, 349, 391
326	城山横穴群			木内	349
327	五郷内砦古墳		五郷内古墳群	五郷内字山内・後谷	198
328	大塚		大塚山古墳	三之分目	198, 294
329	姫塚			下小川	198
330	神里村・白井村貝塚		王宮台・雷・通路貝塚	白井字王宮台・雷・通路	103, 127, 134, 149, 212, 331, 349
331	白井貝塚古墳	石棺	王宮台古墳	白井字王宮台	127, 187, 198, 349
332	富田古墳	人物埴輪	富田1号古墳	富田字原	198, 410 A・B, 432
333	桑畑貝塚		城の台貝塚	虫幡: 桑畑	348c
334	経塚	一字一石経		分郷: 塚越	198
335	豊浦	馬・鹿埴輪	332に関連か		402
<b>山田町</b>					
336	神生村			神生	263
337	米野井古墳群		米野井古墳群	米野井	198
338	田部城跡古墳			田部字遠田部	198
339	西雲寺古墳	刀, 人骨		田部: 西雲寺境内	198
340	長岡貝塚	石器, 獣骨		長岡	263
341	新里村	磨製石斧		新里	263
342	府馬古墳	石棺, 甲		府馬字日下部	198
343	山倉千人塚	石棺, 人骨		山倉字白旗	198
<b>栗源町</b>					
344	岩部	独鈷石		岩部	409
345	岩部包含地	土器		岩部	198
346	姫塚			西田部字御城	198
347	九十九塚	石棺, 人骨		栗源・山田町境	198
<b>多古町</b>					
348	船塚古墳	石室		北中字船塚	51, 198, 250, 252
349	御戸台十三塚		御所台古墳群	御所台字山ノ下	407
350	染井			染井字木ノ下	134, 149, 212, 263, 349
351	多古町古墳			多古字浅間台	422
352	次浦古墳		山王古墳群	次浦字山王	138, 187, 194, 198, 203, 250, 252, 349

353	経塚			みなみなか 南中：経塚	198
<b>ひかた 千 潟 町</b>					
354	鍋木神社古墳		鍋木大神古墳	かぶらぎ 鍋木	198, 294
355	天の宮古墳			鍋木	294
356	堀之内古墳			みなみほり の うち 南 堀ノ内	294
<b>とうのしょう 東 庄 町</b>					
357	今郡古墳			いまごおり 今 郡	198
358	青馬古墳	石棺		おうま にしづか せんげん 青馬字西塚・浅間	198
359	大友城跡古墳			おおとも まんごころだい 大友字政所台	198, 252
360	小貝野村貝塚			こがいの 小貝野	263
361	虎ヶ崎横穴	刀	夏目横穴群	こみなみ こがき 小南字虎ヶ崎	198
362	小南			小南	103, 134, 149, 212, 349
363	和尚塚			ききがわ ぼうち はら 笹川い字坊内原	9, 198
364	夏目	丸木船		なつめ 夏目	198
365	東今泉	馬鐸		ひがしいまいずみ 東 今 泉	361 A・B
<b>香取郡内</b>					
366	香取郡貝塚				266
367	郡内某神社蔵	子持曲玉			379, 386
368	郡内出土	くつわ	306出土か		332
<b>かいじょう 海 上 郡 市</b>					
<b>ちようし 銚 子 市</b>					
369	塚本古墳			(*は旧香取郡) つかもと 塚本町	294
370	野尻古墳群		野尻古墳群	のじり 野尻町	294
371	船木台貝塚	土版, 石器		ふなぎ 船木町	263
372	宮原古墳	刀, 人骨		*みやはら *宮原町字通り	198
373	諸持古墳	石棺, 人骨		*もろもち *諸持町字坂戸野	198
374	八木	石鏃, 石斧	八祖	やぎ 八木町字八祖	263
375	余山貝塚			よやま かいがらづか 余山町字貝殻塚	134, 149, 212, 257, 291, 294, 302 A・B a・b・c・d・e・f, 303, 309, 318, 323, 324, 325, 331, 334 A・B, 341, 342, 346, 349, 350 A・B, 358 A・B, 366, 369, 370, 372, 377, 378h・j・k・l, 383, 388, 396, 397a・b・c, 400 A・ B, 402, 408 A・B, 411, 413, 424 A・B, 425, 427 A・ B, 437, 438 A・B, 442
376	銚子附近	埋没舟			174

<b>旭市</b>					
377	伝木曾義昌墳			イ字網戸	248
378	大塚原古墳	石棺	デイ古墳	大塚原	349
379	足洗村	有角石斧		西足洗：矢ノ根	420A・B
<b>海上町</b>					
380	清滝	丸木舟		清滝	198
381	見広横穴			見広	294
<b>飯岡町</b>					
382	下永井			下永井	103, 134, 149, 212, 349
383	塙	石斧, 石皿	塙百姓内	塙字百姓内	263
<b>匝瑳郡市</b>					
<b>八日市場市</b>				(*は旧香取郡)	
384	飯倉村	石鏃, 石斧		飯倉	263
385	飯高貝塚	土器, 石器	飯高貝塚	*飯高字御堂	134, 149, 212, 349
386	飯塚古墳	石室, 刀	関向古墳	*飯塚字関向	187, 198, 403A・B, 419
387	飯塚村貝殻塚	石器, 鹿角		*飯塚	263
388	大浦貝塚	土器, 石器	大浦貝塚	大浦字領家	134, 149, 212, 349
389	左右王塚		中野古墳群	*大寺字仲野	198
390	龍尾寺跡	瓦		*大寺字御手洗	198
391	小高古墳			*小高字向台	198
392	貝塚村貝塚	土偶, 石器	本郷貝塚	貝塚字本郷	134, 149, 212, 349
393	三社大神境内	磨製石斧		*金原字町野	134, 149, 212, 349
394	中台村	石鏃		中台	263
395	久方村	石鏃, 石斧	久方貝塚	久方	263
396	吉田古墳群	石棺	神崎古墳群	*吉田字蒲野台, 南神崎字道六神 後	198
397	吉田横穴群	刀, 人骨	浅間台横穴群	*吉田字大汐・浅 間台	194, 198, 250, 252, 267c
398	吉田	石斧		*吉田	294
399	八日市場附近横 穴	須恵器			294
<b>光町</b>					
400	岩室古墳群		小川台古墳群	小川台：中内原	250, 252, 349
401	小川台	石鏃		小川台	263

野 栄 町

402 内裡(裏)塚 内裏塚1・2号 野手字内裏塚 13, 15, 187, 248, 250, 349, 423  
墳

上 総 国

市 原 郡

市 原 市

403	台貝塚	土器, 石器	台貝塚	姉崎: 台	134, 149, 212, 349
404	瓶塚			今津朝山字花ノ木	50, 252, 349
405	四民塚	刀		岩崎: 塚越	50, 349
406	牛久古墳			牛久	252
407	センゲン山横穴			馬立字下沢辺	34, 37, 187, 252, 349
408	馬立横穴		407か	馬立	4, 219, 250
409	潤井戸	須恵器		潤井戸	33
410	明星寺跡	瓦		大桶	50
411	海保殿塚		公家台古墳群	海保字公家台	50, 250, 252
412	大塚		大塚山古墳	海保字大塚	50, 252, 349
413	栢橋東横穴			栢橋	34, 37, 187, 349
414	神崎村	土器, 石斧		神崎	263
415	菊間	石鏃, 石斧		菊間	263
416	阿保塚			吉沢字阿本谷	50, 349
417	ゴロ塚			君塚	349
418	久久津貝塚	石器, 獣骨		久久津	263
419	百石沼傍古墳			郡本	4, 252
420	宿御林横穴			宿: 御林	34, 37, 187, 349
421	白幡六郎墳		塩煮塚古墳	白塚字塩煮塚	50
422	ニツ塚古墳			白塚字ニツ木	349
423	真ヶ谷横穴		真福寺前横穴群	真ヶ谷字真福寺前	34, 37, 187, 349
424	入ウ女横穴	人骨	柳田横穴群	瀬又字長谷川	2, 10, 349
425	国分寺前古墳		神門古墳群	惣社字神門	349
426	上総国分寺跡		上総国分僧寺跡	惣社字堂ノ前他	4, 50, 160, 179, 219, 241A・B, 243, 250, 252, 253, 259, 338, 349
427	田尾	雷斧(石ノ神)		田尾	50
428	寺谷	石棒		寺谷	212
429	祇園原寺跡		上総国分尼寺跡	根田字祇園原	259
430	能満村	石鏃		能満	263

431	上総国府跡		能満城跡	能満 <sup>しろやま</sup> 城山・居心 <sup>いしん</sup> 城	50, 160, 179, 219, 252, 296
432	正蓮寺跡	経筒 (建保3年銘)		引田 <sup>ひきだ</sup>	50
433	藤井古墳			藤井字向井原 <sup>ふじい むけい だいら</sup>	250, 252
434	石塚			妙香 <sup>みよこう</sup> : 鹿子台	50, 252
435	宮塚		妙高奉免古墳群 <sup>ほうこう</sup>	妙香: 向田	50, 252
436	市原村貝塚	曲玉, 釣針	門前貝塚	門前 <sup>もんぜん</sup>	412, 416 A・B, 432, 437
437	真理谷・栢橋	打製石斧			212
438	霞山古墳				193b

さんぶ  
山武郡市

とうがね  
東金市

439	公平塚			家の子 <sup>いまこ</sup>	434
440	かいがら塚, 上谷村貝塚	土器	上谷貝塚	上谷 <sup>うわや</sup> 薬師堂 <sup>やくしどう</sup>	43, 44, 134, 149, 212, 349
441	小町塚		六所神社	小野字小町山 <sup>おのこまちやま</sup>	50
442	小野天神近傍	鏡, 須恵器		小野	4, 24, 187, 349
443	常安寺近傍横穴			田中 <sup>たなか</sup>	24, 37, 187, 252, 349
444	市東塚		市東塚	東金字黒田 <sup>とうがねくろだ</sup>	50
445	山辺丘古墳群	武器	道庭古墳群	道庭 <sup>どうてい</sup>	50, 349
446	松之郷古墳	土師・須恵器		松之郷 <sup>まつのごう</sup>	187, 349
447	松之郷	須恵器		松之郷	1
448	御塚山古墳	古銭		御門字蒲立 <sup>みかどかばたち</sup>	50
449	東金近傍	須恵器			1
450	下布田	土器, 石器		東金市・山武町	134, 149, 212, 349

おおあみしらさと  
大網白里町

451	上貝塚村貝塚	土器	上貝塚	上貝塚字後沼 <sup>かみかいづか うしろぬま</sup>	43, 134, 149, 212, 263, 349
452	公家塚			木崎: 堂 <sup>きさき</sup>	50
453	南飯塚	石鏃, 石斧	南飯塚貝塚か	南飯塚 <sup>みなまいづか</sup>	263
454	餅木	土器		餅ノ木 <sup>もちのき</sup>	33
455	大納言塚		養安寺古墳群	養安寺 <sup>ようあんじ</sup>	50, 349

なるとう  
成東町

456	仏供塚古墳	須恵器		真行寺 <sup>しんぎょうじ</sup>	33, 187, 349
457	真行寺	須恵器		真行寺	187
458	五郎塚			津辺字五郎塚 <sup>つべごろうづか</sup>	50, 349
459	小塚	石棺		成東字黒ヶ谷 <sup>なるとうくろがだに</sup>	50, 349

460	成東古墳		成東：三王台	50, 349
461	姫塚		ひめしま ひめづか 姫島字姫塚	50, 349
<b>山武町</b>				
462	兜塚古墳	横穴式石室	あそうしんでん 麻生新田	298
<b>松尾町</b>				
463	箱根神社古墳		おおつみ 大堤	50, 250, 252, 349
464	鬼ヶ嶮横穴		かんのう おおひよう 金尾字大嶮	180, 298, 349
465	松尾藩庁古墳	石棺	まつお 松尾	4, 50, 250, 252, 349
<b>横芝町</b>				
466	寺方古墳群		てらかた 寺方	4
<b>芝山町</b>				
467	新城台	瓦塔	おおだい にじようだい 大台字新城台	257
468	宝馬古墳群		たかだ ほうま 高田, 宝馬	257
469	首塚, 胴塚		やまだ こがね 山田字小金	50
<b>山武郡内</b>				
470	山武地方	古墳, 石器		260
<b>長生郡市</b>				
<b>茂原市</b>				
471	石神村貝塚	土器, 石器	いしがみ 石神	33, 67, 69, 103, 113, 134, 149, 212, 349
472	押日横穴群		おしひ にしの やつ 押日字西ノ谷	4, 24, 37, 187, 252, 259, 349
473	国府関横穴群		こうぜき くげ たか 国府関字久下・高畑	24, 37, 187, 349
474	十人塚		こかやぼ しもした 小萱場字霜下	50
475	渋谷村横穴		しよや 渋谷	180, 349
476	大塚	壺形土器	しもながよし ひがしわかみや 下永吉字東若宮	12, 50, 349
477	立木	石鏡	たちき 立木	263
478	宮の台	土器, 石斧	つなしま みやの だい 綱島字宮ノ台	69, 134, 149, 182b, 207c, 212, 349
479	橋神社床下	土製棺	ながお いちば やつ 長尾字市場<谷>	349
480	七塚龍動寺	貝殻経	ななわたり 七渡：龍鑑寺	225, 349
481	藤谷横穴		ほんのう よじやつ 本納字藤谷	29, 37, 187, 252, 349
482	御舟町横穴		おんふね 本納字御舟町	34, 187, 349



483	橋神社の古墳	須恵器		本納	4, 7, 12, 50, 252, 349, 401c
484	橋神社近傍	土器		本納	23
485	沼出土	廃船		ほうめ 法目か	4, 7
<b>いちのみや 一宮町</b>					
486	貝殻塚			いちのみや かいがらづか 一宮字貝殻塚	212, 321, 349
487	軍荼利山横穴				321
<b>むつぎわ 睦沢町</b>					
488	寺崎村	石鏃		てらきき 寺崎	263
<b>ながら 長柄町</b>					
489	上野村	石斧	上野	うまの 上野	263
490	中ノ台村	石棒, 石斧	中野台	なかのだい 中野台	263
<b>ちようなん 長南町</b>					
491	笠森寺	観音菩薩像		かさもり 笠森	359
492	米満横穴		米満横穴群	よねみち せきむこう 米満字堰 向	180, 349
<b>長生郡内</b>					
493	鹿生新田兜塚		462を誤る		298
<b>いすみ 夷隅郡市</b>					
<b>かつうら 勝浦市</b>					
494	細殿丘古墳			なぎ 名木	50, 295, 349
495	守屋浦古墳	石室, 人骨		もりや 守屋	349
496	勝浦海岸	骨製釣針			306, 378 I
<b>おおたき 大多喜町</b>					
497	石神	石棒		いしがみ 石神	166
498	山神社神宝	石器		みまた 三叉	252
499	塚ノ腰古墳	刀, 曲玉		よこやま 横山: 塚ノ腰	4, 252, 394
<b>いすみ 夷隅町</b>					
500	殿台古墳		小高・姫塚古墳	おだか せきやつ 小高字堰谷	50, 295, 349
501	下屋敷古墳			まつまる しもやしき 松丸字下屋敷	50
502	円蔵寺山横穴			やまさ 弥正: 円蔵寺山	4
503	中川村古墳				168

おん じゆく  
御宿町

504 布施古墳・瓶塚

かみよ せ かののまつ  
上布施字龜ノ松

50, 131, 250, 295, 349

おお はら  
大原町

505 文塚

おおはら ぶらうしき  
大原：造式(雑式)

4, 295, 349

506 布施塚

しも ぶ せ  
下布施

295

507 日在城山麓 朱入土器

ひ あり  
日在

50, 295

みきき まち  
岬町

508 伝白井定行墳 刀, 兜

い ざわ ひがしお ぬま  
井沢字 東小沼

50, 295

509 城山 土器

うすい  
白井

4

510 谷上横穴

や がみ おおやつ ながやつ  
谷上字大谷・永谷

321

きみ つ  
君津郡市

き きら づ  
木更津市

511 石塚

おおく ぼ おおく ぼ やつ  
大久保字大久保谷

50, 349

512 大久保 石器 葎ヶ作貝塚

おおく ぼ やつ  
大久保字葎ヶ作

375

513 太田山 土器, 馬鐸

おお だ  
太田

307

514 大寺廃寺 瓦 大寺廃寺

おお てる  
大寺

50

515 鶴巻塚 刀, 柄頭 鶴巻塚古墳

つる まき  
祇園字鶴巻

403A・B, 419, 437

516 大塚山古墳 石棺, 冑, 甲 大塚山古墳

祇園

59, 104, 153, 156, 157, 162, 187, 195, 201, 349, 352, 380, 401a, 437

517 祇園古墳 人物埴輪

祇園

165, 187, 209, 216, 234a, 404a

518 祇園古墳 刀

祇園

403B, 419

519 祇園貝塚

祇園

307

520 祇園

祇園

375

521 笹子谷古墳

ききこ やつ  
笹子字笹子谷

50, 349

522 稻荷森古墳

笹子

307, 355, 356a, 363d, 373, 403B, 419

523 石神古墳

しもごおり いしがみ  
下郡字石神

50, 132, 349

524 十二社古墳

いちぼ だいい  
下郡字市場台

50, 349, 364

525 請西古墳

じようざい  
請西

307

526 銚子塚 高柳銚子塚

たかのなぎ  
高柳

349

527 椿村

つばき  
椿

17, 33

528 椿不知

椿

50, 349

529 長須賀古墳

ながす か  
長須賀

349

530 根岸村 磨製石斧

ね ぎし  
根岸

263

<b>君津市</b>				
531	市宿横穴群		市宿横穴郡	いちじやく いわむろ 市宿字岩室 349
532	九十九坊寺跡		九十九坊庵寺跡	うちぬのわ くじゆらく ぼ 内寰輪字九十九坊 台 50
533	延長寺の遺物	石棒		うら た 浦田 166
534	阿久留塚		あぐりづか 阿久留塚古墳	かのうざん 鹿野山：下町 50
535	上新田古墳群		上新田古墳群	かみにつた うまぼら 上新田字上原 349
536	伝貞元親王遺物 (神将寺旧蔵)	五鈴杏葉		さだもと 貞元（富津市大堀 明澄寺現蔵） 4, 7, 50, 93, 111, 187, 250, 252, 307, 349, 428
537	御塚ノ台古墳			しろこま 白駒：本落山 50, 349
538	小櫃山陵，俵田 古墳		白山神社古墳・ 陪塚	たわらだ たて うち 俵田字館ノ内 6, 8, 13, 50, 133, 166, 252, 261, 267c, 307, 322, 349, 364, 435
539	白山社の遺物	石棒		俵田字館ノ内 166, 349
540	瓜倉原古墳群			てらざわ 寺沢：瓜倉原 50
541	寺沢十三塚			寺沢 407
542	城山村古墳群		戸崎古墳群	とぎま じょうやま 戸崎字城山 267c
543	城山			戸崎字城山 393
544	塚ノ腰			戸崎字塚ノ腰 393
545	中島古墳			戸崎字中島 50, 349
546	野持古墳			戸崎：野持 50, 252, 349
547	飯籠塚			にしぼら 西原 50, 349
548	人見丘横穴群			ひとみ 人見 349
549	愛宕山横穴群		向郷横穴群	むかいごう いわむろ 向郷字岩室 166, 349
550	陣場古墳群			向郷 349
551	小櫃村古墳			393, 394, 436 B
<b>富津市</b>				
552	相野谷十三塚			あいのやつ 相野谷 50, 407
553	内裏塚古墳群			あおき おおほり かみ いい 青木，大堀，上飯 野，下飯野，二間塚 4, 50, 226, 252, 307, 326, 349, 394
554	青木古墳			青木 349
555	大堀古墳			大堀 349
556	九条塚		九条塚古墳	くじょうづか 下飯野字九条塚 218, 252, 349, 418
557	三条塚		三条塚古墳	さんじょうづか 下飯野字三条塚 218, 252, 349
558	内裏塚		内裏塚古墳	むかしないうり 二間塚字東内裏 塚 7, 218, 226, 250, 252, 326, 329, 333, 349, 351, 423, 437
559	姫塚			二間塚 218, 252
560	北方古墳			二間塚 218, 333
561	石塚			349
562	飯野村古墳	刀		187, 344, 349, 356b, 403 A・B, 419, 429
563	飯野村	人物埴輪	558か	401b

564	大堀	古式土師器		大堀	384 A・B, 394
565	上飯野村貝塚		吹出貝塚	上飯野 <sup>ふきだ</sup> 字吹出 <sup>シ</sup>	263
566	御門古墳			竹岡 <sup>たけおか</sup> :御門	50
567	一本松古墳群				223
<b>そでがうら 袖ヶ浦町</b>					
568	阿(安)部	石鏃		阿部 <sup>あべ</sup>	263
569	飯富古墳群			飯富 <sup>いいとみ</sup>	349
570	鏡峰古墳		鏡峯古墳	飯富 <sup>きようがみね</sup> 字鏡峯	50, 250, 252, 349
571	山野	土器	山野貝塚	飯富 <sup>さんや</sup> 字山野	349
572	カンカン塚			神納 <sup>かんのう</sup>	50, 252, 349
573	坂戸神社古墳		坂戸神社古墳	坂戸 <sup>さかど</sup> 市場 <sup>いちば</sup> 字坂戸 <sup>さかどやま</sup> 山	364
574	高谷	土器		高谷 <sup>たかや</sup>	17
575	上奈良輪古墳		上奈良輪古墳	奈良 <sup>なら</sup> 輪 <sup>わ</sup> 字上奈良 <sup>かみなら</sup> 輪 <sup>わ</sup>	50, 252, 349
576	丸山			三黒 <sup>みくろ</sup> 字定 <sup>じよう</sup> 西 <sup>さい</sup> 大 <sup>だい</sup> 繩 <sup>おなわ</sup>	50, 252, 349
577	富岡村				84, 134, 149, 212, 349
<b>君津郡内</b>					
578	郡内古墳出土	丸玉			429

あわのくに  
安房国

あわ  
安房郡市

たてやま  
館山市

579	ニシザク・イシザク横穴		岩井作横穴群	稲字 <sup>いな</sup> 岩井 <sup>いわい</sup> 作 <sup>ざく</sup>	28, 37, 187, 349, 362
580	西作稲村城東	土器	西柵	稲字 <sup>にしざく</sup> 西柵	108, 212, 273
581	大塚対岸		犬石大道	犬石 <sup>いぬいし</sup> 字大道 <sup>おおみち</sup>	108
582	大網横穴群		大網横穴群	大網 <sup>おおあみ</sup>	28, 37, 187
583	安房国分寺跡		安房国分寺跡	国分 <sup>こくぶん</sup> 字天神 <sup>てんじん</sup> 前 <sup>まえ</sup>	131, 160, 179, 234b, 242, 250, 252, 253, 255, 349, 362, 404b
584	茅野	土器	茅野	国分 <sup>かのの</sup> 字萱野	108, 134, 147, 149, 212, 349, 362
585	狐塚		狐塚古墳	腰越 <sup>こしごえ</sup> 字狐塚 <sup>きつねづか</sup>	108, 362
586	狐塚周辺	土器	腰越	腰越 <sup>こしごえ</sup> 字狐塚	108, 134, 149, 212, 349
587	安房神社遺物	石斧	大神宮か	大神宮 <sup>だいじんぐう</sup> :安房神社	108
588	大塚貝塚	土器, 石斧, 鹿骨	大神宮貝塚又はオイト貝塚	大神宮 <sup>だいじんぐう</sup> :大塚山	108, 134, 149, 212, 349, 362
589	鉞切神社洞穴	須恵器	鉞切洞穴	浜田 <sup>はまだ</sup>	108

590	鉦切神社遺物	丸木舟		浜田	108, 109, 162, 231, 236, 252, 273, 349, 362
591	東長田村	土製模造品	東長田	ひがしながた やつ 東長田字谷	183, 185, 188, 202, 207e, 227, 327, 347, 349, 362
592	古茂口・宝貝・大貫の横穴群		宝貝横穴群	ほうがい はやしがきく 宝貝字 林ヶ作	28, 37, 187, 349, 362
593	布良神社遺物	石棒		めら 布良	108
594	山本村石井	土器, 石斧		やまもと 山本: 石井	134, 149, 212, 349, 362
595	蕨台古墳	曲玉, 管玉		山本字 蕨台	232, 349, 362
596	山本横穴			山本	28, 37, 187
597	館山港	土器			60
598	北条海岸	土器, 石鏃			207b
<b>鴨川市</b>					
599	内裏塚			だいり 大里	252, 349
600	成川村	石棒	成川遺跡	なりがわ 成川	84, 134, 149, 212, 349, 362
601	岡波太	石棺		おかのた 太海: 山田	349, 362
602	熊野神社遺物	石棒		よこすか 横渚	362
603	北条村亀塚			(東条村の誤か)	228
<b>三芳村</b>					
604	海老敷古墳群			えびしき 海老敷	349, 362
605	安房国府跡			ふちゆう 府中	160, 179, 296
606	国分尼寺跡	瓦	ほうじゆいん 宝珠院観音堂	府中	228
<b>白浜町</b>					
607	鴨田			しらはま かもだ 白浜字鴨田	108
608	杖 珠院遺物	石棒		白浜: 原	231
609	瀧口神社附近	石棒	瀧口貝塚か	たきぐち 瀧口: 本郷	397g
<b>千倉町</b>					
610	瀬戸貝塚・イナゴ沢貝塚		稲子沢	せと いなござわ 瀬戸字稲子沢	103, 108, 134, 147, 149, 212, 349
611	瀬戸薬師前	土器	瀬戸薬師前	せと くしよまへ 瀬戸字薬師前	103, 108, 134, 149, 212, 349, 362
612	千倉鑛泉附近	磨製石斧		みなみあき 南朝夷	108, 134, 149, 212, 349, 362
<b>丸山町</b>					
613	石堂横穴			いしどう 石堂	187, 349
614	小戸横穴群			おと 小戸	187, 349
615	加茂熊野神社	石棒		か も みかど 加茂字神門	134, 149, 212, 349
616	莫越山神社	石斧	神梅	くつみ かみうめやした 杵見字神梅宮下	134, 149, 212, 349, 362

617 珠師ヶ谷横穴 珠師ヶ谷横穴 <sup>しゆし がやつ おおにわ</sup> 珠師ヶ谷字大庭 187, 349, 362

<sup>わだ</sup> 和田町

618 南三原横穴 187, 349

<sup>あまつ こみなと</sup> 天津小湊町

619 清澄山麓古墳 石棺, 須惠器 <sup>きよすみ</sup> 清澄 100, 228, 349, 362

620 清澄寺経塚 清澄 362

621 誕生寺経塚 <sup>こみなと</sup> 小湊 225

安房郡内

622 古川本間塚 362

623 古川横穴 221

624 岬崎 須惠器 187, 349

県内の広域に亘る事項

625 県下 78, 120, 145, 161, 176 A・B, 308, 313, 339

626 下総国 61, 68, 72, 90, 95, 123, 178, 191, 220, 229, 340, 341, 360, 374

627 上総国 177, 274, 343, 419

628 安房国 61, 107, 222

県外

629 延命寺遺物 人物・馬形埴輪 茨城県北相馬郡藤代町岡 35, 36, 42

その他

630 研究, 講演等 30, 76, 172 A, 175, 315, 378e, 402

631 収集, 公開等 172 B, 197, 200, 224, 301, 334 B, 367, 379, 388, 389, 390, 395, 396, 397, 398, 402, 442

(千葉県立房総風土記の丘)